

令和2年度

相模原市立博物館 年報



ごあいさつ

令和元年末ごろからニュースに取り上げられ始めた謎のウイルスが「新型コロナウイルス」と名付けられ、その後、令和3年度に入った今日までその対策に追われる日々がくるとは、当時は予測もできないことでした。

世界中を席卷したこのウイルスの影響は、当相模原市立博物館においても、市の他の施設同様に令和元年度末から緊急事態宣言が解除されるまで臨時休館したほか、市の方針として令和2年8月末までは事業は原則中止とされるなど、大きなものとなりました。また、再開後も感染防止対策として様々な対応を行うほか、開館25周年を記念した様々な事業についても内容の変更や中止を余儀なくされました。

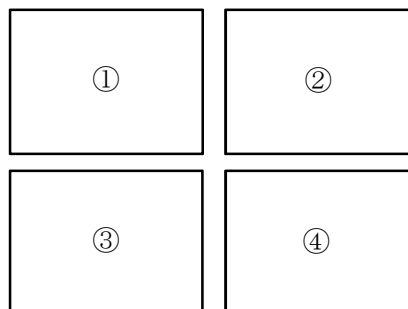
こうした中、博物館では、こんな時でもできること・こんな時だからこそできることを、と、学びをとめないために、様々な取り組みを進めてまいりました。

「職員ブログ」や公式ツイッター、新たに開設した公式 YouTube チャンネルなどによって発信するだけでなく、休館中の令和3年3月には庁内外との連携のもと、かねてから応援を続けていた小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセル世界初公開を行うなど、相模原市のシビックプライドの向上に寄与する事業も実施してまいりました。

令和2年度という、先の見えない1年間をいかに過ごしたかの全記録がこの年報に記されています。25年目の博物館の歩みとして、そして長く語り継がれる日々の記録として、記憶にも記録にも残るこの1年をみなさまと共有したいと思います。

令和3年4月 博物館長

表紙の写真



- ①相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード
- ②「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開展示の様子
- ③令和2年7月豪雨で被災した人吉城歴史館の植物標本のレスキュー作業の様子
- ④開館25周年を記念して作成したタペストリー

目 次

I	相模原市立博物館概要	2
1	設立の経緯	
2	設置目的	
3	令和2年度生涯学習部組織目標・博物館重点目標	
4	博物館ネットワークの推進	
5	相模原市立博物館活動評価書（抜粋）	
II	管理運営	7
1	組織と事務分掌	
2	博物館協議会	
3	施設	
4	予算	
III	教育普及・学習支援	11
1	入館者数	
2	再開後（6月以降）の博物館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応	
3	常設展示	
4	企画展（特別展示）	
5	講座・講演会・教室・観望会などの事業	
6	プラネタリウム・全天周映画	
7	情報サービスコーナー	
8	広報・出版等	
9	博物館学芸員実習	
10	団体利用	
11	博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用	
12	相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し	
13	ネットで楽しむ博物館	
14	インターンシップ	
15	博物館職員の講師依頼等	
16	JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
17	市民との協働	
IV	資料管理	38
1	博物館収蔵資料点数	
2	収集・整理	
3	有害生物管理の実施	
4	資料の特別利用	
5	JAXA宇宙科学研究所からの借用物	
6	全国博物館連携協議会からの借用物	
V	調査研究	46
VI	市史関連事業	47
1	収集・整理事業	
2	普及事業	
VII	博物館所管施設	48
1	尾崎弔堂記念館（緑区又野）	
2	吉野宿ふじや（緑区吉野）	
3	入館者数一覧	
VIII	企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧	52
IX	企画展（特別展示）ポスター一覧	53
X	博物館略年表	54
付録	相模原市立博物館条例	相模原市立博物館条例施行規則
	相模原市立尾崎弔堂記念館条例	相模原市立尾崎弔堂記念館条例施行規則
	相模原市吉野宿ふじや管理規程	

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和53年12月、郷土懇話会や文化協会ほか8団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係6団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和55年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和56年4月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に6か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成5年に着工した。

平成7年11月20日（市制記念日）に開館。開館後は1階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成16年1月に100万人を超え、平成23年8月に200万人、平成31年3月に300万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内の小学校が来館して学習するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。（市立博物館条例第2条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成7年11月20日神奈川第32号）

3 令和2年度 生涯学習部組織目標・博物館重点目標

市民が生涯にわたって学び、学んだことを生かす学習機会を提供します。

そのため、「相模原市総合計画」をはじめ、「第2次相模原市教育振興計画」、「相模原市スポーツ推進計画」、「第2次相模原市図書館基本計画」等に基づき、生涯にわたり、多様で質の高い学習機会の提供や、スポーツを楽しむ機会の充実等を図り、活気ある地域づくりを促すため、令和

2年度の「生涯学習部」の組織目標を次のとおり定めます。

＜重点目標＞

- 『市民が生涯にわたり学び続け、いきいきと暮らす生涯学習社会の創造』
- 『生涯にわたり楽しむことができるスポーツ活動の推進』
- 『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成』

＜重点項目＞

- 1 市民の多様な学習ニーズに対応するため、公民館、生涯学習センター及び津久井生涯学習センターの事業の充実や施設の環境整備を図る。
 - 市民の高い学習意欲や時代の変化を捉えた各種講座、事業等の実施
 - 学習活動を通じた地域を担う人材の育成と仕組みづくりの促進
 - 公民館の改修事業をはじめとする施設の着実な整備と適切な維持管理の推進
 - 住民主体による公民館活動の推進
 - 市民、有識者、行政の協働による淵野辺駅南口周辺まちづくり事業の推進
- 2 文化財の保存及び活用を計画的に進める。
 - 埋蔵文化財の適切な調査、保存の推進と公開活用のための整備
 - 郷土に対する愛着と誇りを育むため、市民への文化財の普及、情報発信等、文化財を学び親しむ機会の提供
- 3 「する」「観る」「支える」スポーツ環境の充実に取り組む。
 - スポーツを始めるきっかけや気軽にスポーツを楽しめる機会の充実
 - 利用者ニーズを踏まえたスポーツ施設の整備と適切な維持管理の推進
 - 子どもたちのスポーツに親しむ意欲の喚起と体力・運動能力の向上
 - 地域のスポーツ団体等との連携・支援をはじめとしたスポーツの振興
 - トップレベルの競技会の開催を通じたスポーツ振興、スポーツを通じた本市の魅力の発信
- 4 図書資料等の提供を中心とした市民の知的活動の支援に一層取り組む。
 - 多様な学びを支えるための資料の充実と積極的な情報発信
 - 地域関係機関との連携による図書館の利用促進
 - 市立図書館の中央図書館としての再整備の推進
- 5 地域文化の継承・発信の拠点とした事業の推進を図る。
 - 収蔵資料の更なる活用を通じた魅力ある展示の検討
 - 関係機関や団体、学校等と連携し、来館者の増加を図り学びの場を提供
 - JAXAとの連携を強化し、特色のある宇宙教育普及事業の推進

令和2年度 博物館重点目標

当館は、地域の総合博物館として、「相模原」の自然、文化並びに天文に親しみ、理解を深める場を提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、いきいきとした市民文化の創造に貢献することを目的としています。

そのため、博物館の使命である、郷土の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究をより一層深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組みます。また、学校や関係機関等との連携を促進し、主体的に参加する市民を育成し協働を進めながら、市民文化の向上に資する事業の展開、及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

なお、今年度、新たに『第二次相模原市教育振興計画』が策定されたことから、その基本方針に則り、具体的な取組を進めてまいります。

■ 重点目標 ■

- ・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
- ・日ごろの調査研究の成果を生かし、かつ、関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・JAXA等との連携を強化し、プラネタリウム等の特色を生かした宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・市民ボランティア等の育成・充実に取り組み、博物館活動への市民の参画を促進するとともに、協働による事業展開を進めます。
- ・博物館への興味・関心を高めるとともに来館のきっかけとなるよう、多様なメディアを活用し、効果的、魅力的な情報発信に努めます。
- ・人（来館者・従事者）にもモノ（収蔵品）にも安全で快適な環境維持のため、計画的で適切な施設の管理に努めます。

■ 重点施策（取り組むべき事業） ■

1 展示・教育普及事業の推進

- （1）考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
- （2）市民ボランティアとの協働による展示の工夫及び事業の実施
- （3）JAXA等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- （4）開館25周年を記念した事業及びプラネタリウムを生かした特色ある事業の実施
- （5）尾崎弔堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- （6）市民ボランティアの育成、充実と主体的な活動の促進
- （7）館内表示等の多言語化の推進

2 積極的な情報発信事業の推進

- （1）広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター等SNSを活用した効果的な情報発信の実施
- （2）機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- （1）計画的な施設維持管理の実施
- （2）来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史関連事業の推進

- （1）市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

5 博物館評価の実施

- （1）市民の生涯学習の拠点として親しまれる博物館の実現を目指した博物館評価の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎罌堂記念館展示・普及事業

…近現代史講演会（2回）、ミニ企画展 3事業（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

「尾崎行雄（罌堂）ゆかりの地マップ」の改訂版を作成した。

イ 吉野宿ふじや活性化事業

…「藤野の昔話と伝説」展、「蚕の飼育と人々の生活」展、「いまきみち・西村繁男・にしむらあつこ」絵本原画展、「甲州道中－相模湖・藤野・上野原－おひな様」展 4事業（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

「甲州道中吉野宿マップ」及び「吉野宿ふじやリーフレット」の改訂版を作成した。

ウ 図書館との連携

…市内の生涯学習施設として相互PRを行うため、企画展の出張ミニ展示を市立図書館で実施し、市立図書館ではミニ展示に関係するブックリストを作成した。また、市立図書館・相模大野図書館・橋本図書館では貸出し図書の貸出期限票の裏面に企画展案内を掲載するなど連携を図った。

エ JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟出張展示

…博物館とJAXAの連携のひとつとして、JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の博物館紹介コーナーに出張展示を行っている。

5 相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

I 相模原市立博物館活動評価の総括

（評価期間：平成29年度～令和元年度）

○平成20年6月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命及び重点目標等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会による有識者評価を経て、平成23年度～25年度評価、平成26年度～28年度評価に引き続き、第3回目となる平成29年度から令和元年度までの活動について点検・評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること

【評価項目】

- 1 展示教育普及事業の推進
- 2 関連施設・機関との連携
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動

平成29年度～令和元年度における活動評価全体総括

○市民と歩む博物館の活動理念を実践し、地域に根差した特色ある活動を展開していることが市民及び有識者から評価された。

具体的には、JAXA宇宙科学研究所と連携した多彩な宇宙教育普及事業の実施をはじめ、

図書館や公民館など関連する施設との連携、小中学校をはじめとする学校への学習支援、さらには博物館全体の教育普及事業及び各専門分野でのボランティアとの協働による活動の充実などである。

- 博物館の活動についてネットメディアなどを活用した情報発信は活発に行われている一方で、展示・教育普及活動の市民への周知などは行き届いていない可能性があることについて指摘され、ターゲットを明確にしたきめ細かい広報活動のさらなる充実が求められている。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、さらに地域文化を継承・発信する拠点としての博物館を目指して活動していく。

【定量評価】

- 前回評価期間の平成26年度からの数値を見ても、活発な活動を維持してきたが、評価期間終盤における自然災害や新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館により様々な事業が中止となり、今後はこうした事態も想定する必要がある。そうした中で、市民の学習機会の場を維持し、博物館として状況に応じた情報の発信や事業の展開を模索していかなくてはならないと考えられる。

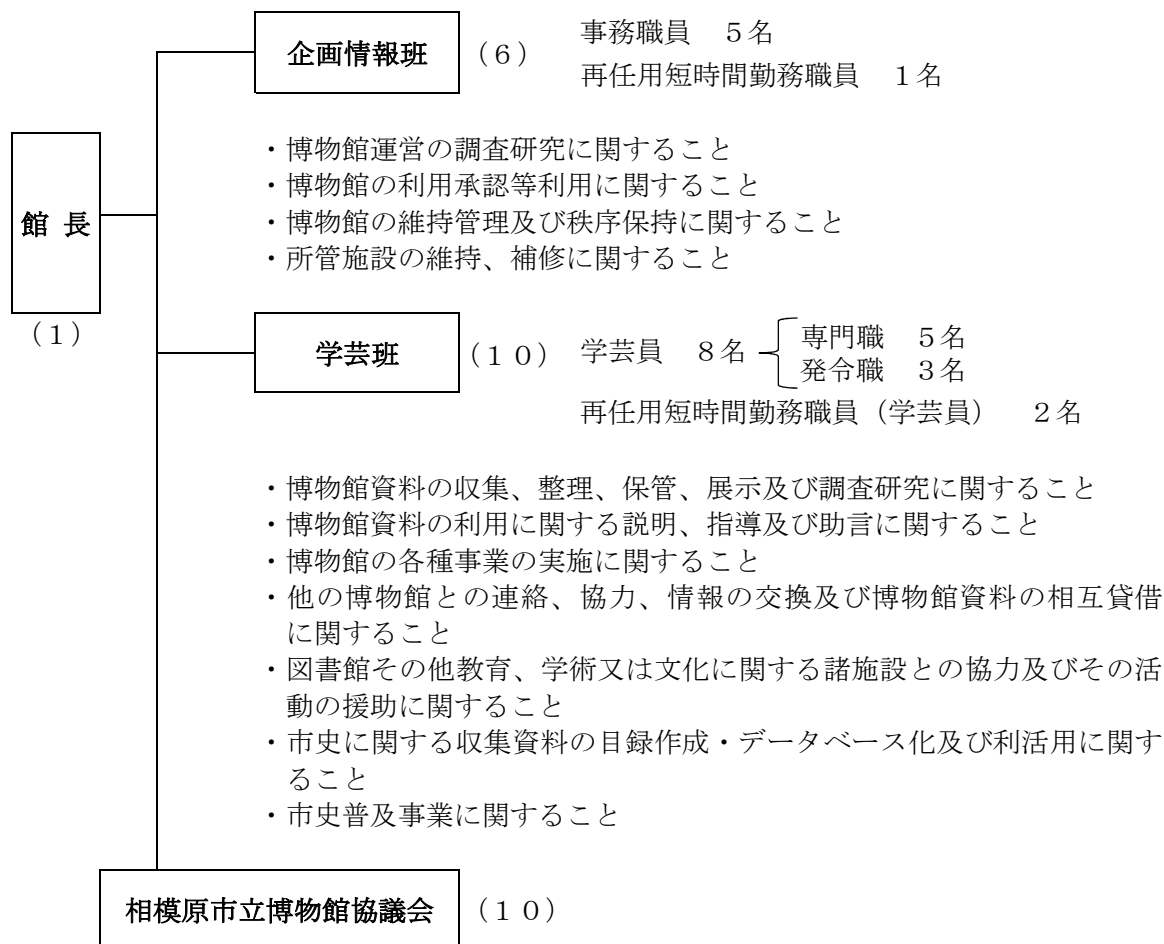
【定性評価】

- 1 **展示教育普及事業の推進**では、「企画展示の実績と常設展示リニューアル」「宇宙教育普及事業の展開」について評価を行った。
有識者意見からは、質の高い学芸活動や入館料無料が維持されている点などから多くの入館者数を得ている点や、引き続き市民とともに歩む博物館活動を進めている点などが評価された。また、隣接するJAXAとの連携は地域的な特色として今後もさらなる充実が求められている。
一方で、開館から25年を経て今なお常設展示の全面リニューアルが実現できていないことや、多様なニーズに応える展示やPRの手法を検討することが課題として挙げられる。
- 2 **関連施設・機関との連携**では、「博物館ネットワークの推進」「学校への学習支援」「図書館・公民館等との連携」について評価を行った。
有識者意見からは、関連する施設との連携や講師派遣等の事業支援、連携展示などが進められている点について評価された。また、津久井地域にある所管施設については広報活動の充実や利用促進をはかることが求められた。また、学校との連携に不可欠である指導主事の配置の復活についても課題として挙げられた。
- 3 **市民との協働による博物館活動の展開**では、「市民の会の活動の展開」「市民学芸員の活動の展開」について評価を行った。
有識者意見からは、多方面にわたる市民との協働が地域博物館の実践的活動として存在感を増していることが評価された。
課題として、会に参加する者が高齢化・固定化して人材の確保が難しくなっている点や、活動範囲の広がり学芸員の負担増に結び付く可能性についても指摘され、市民の生涯学習の場として円滑な活動支援ができるように体制を見直していくことも必要とされた。
- 4 **博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動**では、「資料整理及び展示、調査成果の公表」「様々なメディアを用いた情報発信の取組」について評価を行った。
有識者意見からは、増加する館収蔵資料の整理作業を博物館と市民とで協働で実施し、こうした博物館活動の様子を新しいメディアにも対応して情報発信している点についても評価された。
また、博物館の学芸活動の基本を支える学芸員の調査研究活動の環境整備について、改めて充実を図ることが提案された。

Ⅱ 管理運営

1 組織と事務分掌

令和3年3月31日現在



・会計年度任用短時間勤務職員

- 博物館学習指導員 (1)
- 市史資料調査員 (3)
- 事務補助員 (収蔵品整理) (3)
- 事務補助員 (尾崎罌堂記念館施設管理業務) (3)
- 事務補助員 (吉野宿ふじや施設管理業務) (2)
- 事務補助員【障害者雇用】(2)

2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

令和元年11月20日～令和3年11月19日

◎会長 ○副会長

	氏 名	備 考	選出区分
	沼澤 俊宏	小学校校長	学校教育
	五十里 雅子	高等学校副校長	
	戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育
	林 さとみ	市立小中学校PTA連絡協議会副会長	
○	吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎	岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部特任教授	学識経験者
	浜田 弘明	桜美林大学教授	
	藤本 正樹 (※)	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
	遠藤 正典	市民公募	市の住民
	谷内 夢賀子		

※令和2年7月1日から委嘱

(3) 活動状況

回	開 催 日	お も な 内 容
1	7月10日(金) ～7月17日(金) (書面会議)	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う博物館の対応と経過について ・第13期第1回協議会における委員意見への対応について ・令和元年度博物館事業報告 ・令和2年度博物館事業計画について
2	12月22日(火)	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う博物館の対応と経過について ・博物館活動評価書について
3	令和3年 3月24日(水) ～3月28日(日) (書面会議)	・相模原市立博物館活動評価書について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48㎡
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03㎡
オ 延床面積	9,510.24㎡
オ 休館日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（12月28日～1月3日）
カ 開館時間	午前9時30分～午後5時

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による運用については、12頁Ⅲ-2参照。

	用途・面積	主な室	内 容
展示・教育	展示スペース (1,907㎡)	自然・歴史展示室 (1,170㎡)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127㎡)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXAから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487㎡)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453㎡)	実習実験室 (90㎡)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席（※1）
		情報サービスコーナー (127㎡)	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。（※2）
		大会議室 (237㎡)	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容（※1）
保管・研究	プラネタリウム (648㎡)	プラネタリウム (648㎡)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像（全天周映画）を上映できる。（※1）
	研究スペース (1,038㎡)	市民研究室 (294㎡)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。（※1）
		天体観測室 (74㎡)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
管理・共用	収蔵スペース (1,570㎡)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
	管理・共用 スペース (3,894㎡)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。（※1）

※1 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実習実験室・大会議室・プラネタリウム・天文研究室・休憩コーナー・喫茶室は座席・定員を減らして運用。

※2 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止。

カ Wi-Fi 博物館（エントランス）と尾崎弔堂記念館にWi-Fi環境あり。

(2) 施設管理業務委託（委託料年間1,000万円以上）

- ・総合管理業務委託 株式会社オーチャー 相模原支店
委託期間 平成30年6月1日～令和3年5月31日

令和２年度 相模原市立博物館 年報

- ・受付業務委託 株式会社ギオン
委託期間 令和元年６月１日～令和３年５月３１日
- ・プラネタリウム操作等業務委託 株式会社東急コミュニティー
委託期間 令和２年４月１日～令和３年３月３１日

- (３) 消防訓練 令和２年１１月１１日（水）
令和２年１２月４日（金）〔県博協防災訓練〕
令和３年３月１８日（木）

４ 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	２年度予算額	３年度予算額	財源内訳	２年度
10	05	55	企画費	770	0	一般財源 特定財源	770 0
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	30	1,465	一般財源 特定財源	30 0
50	20	45	博物館費	241,673	239,059	一般財源 特定財源	221,973 19,700
計				242,473	240,524		242,473

博物館費

節		説 明			
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費			
0 1 報酬	265	経費内訳	２年度	３年度	
0 8 報償費	3,710	1 博物館協議会経費	275	290	
0 9 旅費	333	2 施設運営費	50,695	43,290	
1 1 需用費	71,847	(1) 資料収集保存経費	5,212	2,670	
1 2 役務費	837	(2) 資料調査研究経費	2,905	1,020	
1 3 委託料	156,251	(3) 展示・教育普及事業経費	6,854	4,038	
1 4 使用料及び賃借料	8,227	(4) プラネタリウム事業経費	35,380	35,240	
1 8 備品購入費	91	(5) その他運営費	344	322	
1 9 負担金、補助及び交付金	112	3 施設維持管理費	188,936	182,981	
		4 博物館施設整備事業費	0	10,787	
		5 市史関連事業費	188	127	
		6 一般事務費	1,579	1,584	
合計	241,673	合計	241,673	239,059	

主な施設修繕箇所

- 博物館
- ・冷却塔修繕
 - ・正面自動ドア修繕
 - ・シャッター修繕
 - ・地階女子トイレ洋式便器化修繕
 - ・休憩コーナーガラススクリーン撤去修繕
 - ・小会議室カーペット張替修繕

Ⅲ 教育普及・学習支援

１ 入館者数

（１）令和２年度計 49,770 人 （令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年４月１日（水）～６月８日（月）及び令和３年１月１３日（水）～３月２１日（日）休館（「はやぶさ２」帰還カプセル世界初公開展示期間（３月１２日（金）～３月１６日（火））は往復はがきでの抽選による当選者によりのみ公開）及び令和２年４月１日（水）～６月１８日（木）プラネタリウム休止

（２）総 計 3,194,097 人

（３）詳 細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会 講座等	企画展 関連事業	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般投影	全天周 映画	学習投影							
令和２年４月	0	0	0	0	0	0	0		0	¥0	0	0
５月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	¥0	0	0
６月	1,872	415	159	256	0	0	0	0	0	¥137,650	17	110
７月	4,971	1,631	664	967	0	0	0	0	0	¥571,950	28	178
８月	9,759	3,980	1,408	2,572	0	0	0	26	0	¥1,309,350	29	337
９月	7,007	2,088	1,301	603	184	1,885	0	182	0	¥677,620	25	280
１０月	6,199	1,650	778	357	515	2,951	0	15	0	¥428,210	27	230
１１月	6,219	1,829	941	465	423	1,524	0	1,222	0	¥509,770	24	259
１２月	5,806	1,768	883	442	443	3,511	0	97	0	¥476,060	24	242
令和３年１月	1,247	380	285	95	0	780	0	0	0	¥128,850	7	178
２月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	¥0	0	0
３月（※１）	6,690	582	397	185	0	4,624	0	0	0	¥194,200	14	478
令和２年度計	49,770	14,323	6,816	5,942	1,565	15,275	0	1,542	0	¥4,433,660	195	255

※１ 「はやぶさ２」帰還カプセル世界初公開展示時の入館者数・特別展人数・開館日数を含む

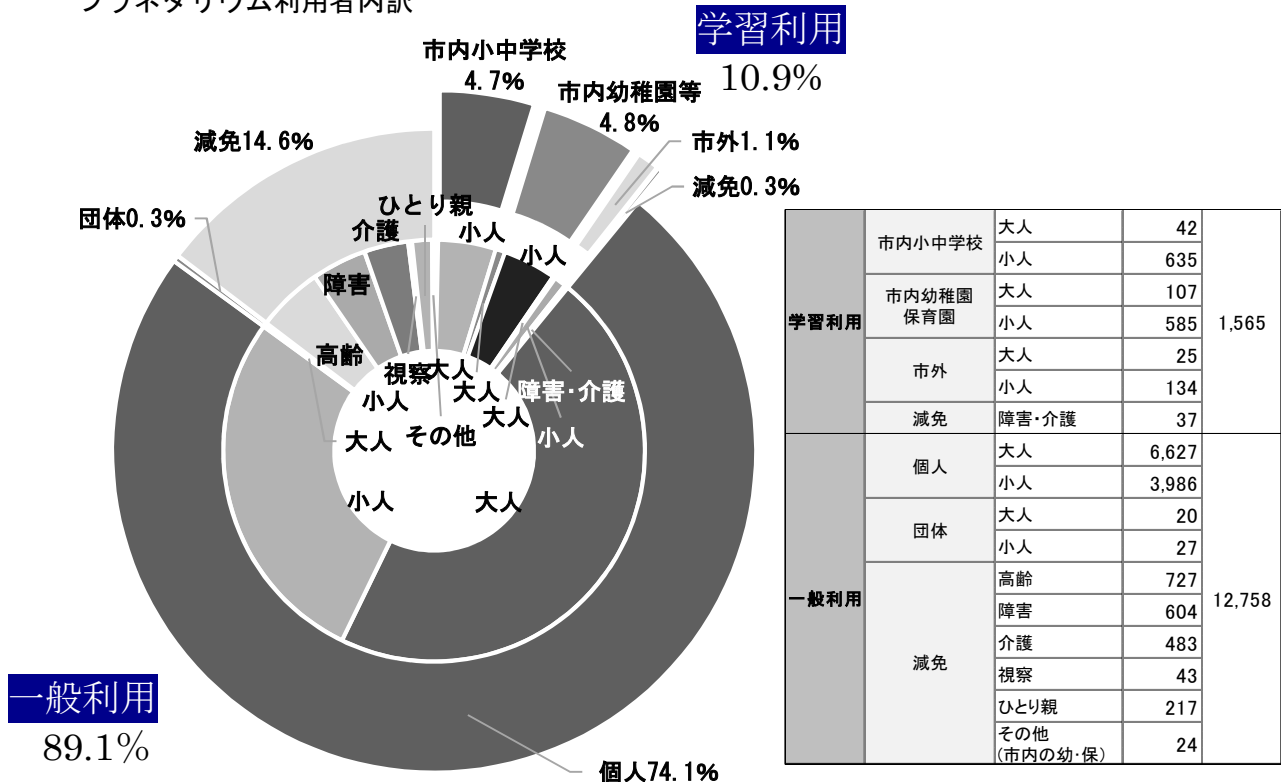
*（参考）開館からの総計

平成７年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836		¥11,099,520	107	733
８年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186		¥18,187,120	300	419
９年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167		¥12,233,880	300	353
１０年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696		¥12,820,900	299	359
１１年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255		¥15,325,720	295	390
１２年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258		¥11,921,600	302	368
１３年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574		¥14,329,780	305	435
１４年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277		¥12,221,160	303	393
１５年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873		¥13,904,050	302	418
１６年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148		¥11,562,090	300	372
１７年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725		¥12,776,280	301	387
１８年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896		¥14,321,720	303	375
１９年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245		¥13,369,000	304	403
２０年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517		¥13,831,800	303	423
２１年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681		¥13,679,160	303	449
２２年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249		¥25,095,880	301	608
２３年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438		¥17,780,860	306	450
２４年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100		¥15,274,420	307	452
２５年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114		¥15,334,880	306	453
２６年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344		¥13,971,950	303	418
２７年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114		¥14,303,490	304	435
２８年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167		¥14,568,880	303	413
２９年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941		¥15,673,280	304	454
３０年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841		¥14,551,270	304	449
令和元年度（※２）	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709	78,289	1,343	8,962	2,594	¥13,999,290	278	498
２年度（※３）	49,770	14,323	6,816	5,942	1,565	15,275	0	1,542	0	¥4,433,660	195	255
総 計	3,194,097	1,347,874	541,117	534,728	272,029	1,428,916	32,233	194,146	2,594	¥366,571,640	7,538	424

※２ 令和元年東日本台風のため、令和元年１０月１２日（土）～１３日（日）午後１時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年３月２日（月）～３１日（火）休館

※３ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年４月１日（水）～６月８日（月）及び令和３年１月１３日（水）～３月２１日（日）休館（「はやぶさ２」帰還カプセル世界初公開展示期間（３月１２日（金）～３月１６日（火））は往復はがきでの抽選による当選者によりのみ公開）及び令和２年４月１日（水）～６月１８日（木）プラネタリウム休止

プラネタリウム利用者内訳



2 再開後（6月以降）の博物館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応

月	対 応
6 月	6 日（土） 尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやを再開（※1） - 企画展、講座・講演会等は中止 9 日（火） 博物館の自然・歴史展示室のみ再開（※1） - 開館時間は午後4時までに短縮 19 日（金） プラネタリウム、天文展示室、市民研究室、喫茶室、実習実験室の再開 - プラネタリウムの定員を40席に限定（通常210席）、投影回数を4回から3回に削減して実施 - 天文研究室、休憩コーナー、喫茶室、実習実験室の座席を減らして運用
7 月	10 日（金） プラネタリウムの座席数を55席に変更 - 市民学芸員活動再開 - 令和2年度文化芸術振興費補助金（文化施設の感染症防止対策事業）の交付申請（※2）
8 月	1 日（土） プラネタリウムの座席数を70席に変更 - 開館時間を午後5時までに変更 - 学芸員実習生受入れ
9 月	- 団体受入れの再開（最大人数を70～80人に制限）、大会議室の定員を減らして運用 - 企画展の再開 - 生き物ミニサロン再開（館外） - ホームページで動画配信（ネットで楽しむ博物館）開始

1月	■博物館、尾崎弔堂記念館、吉野宿ふじやに神奈川県「感染防止対策取組書」及び「LINEコロナお知らせシステム」を掲示 ■13日(水) 博物館、尾崎弔堂記念館、吉野宿ふじやが再休館 ■29日(金) 常設展示のスタートスイッチを非接触スイッチへ改修を実施
3月	■23日(火) 博物館、尾崎弔堂記念館を再開 ■27日(土) 吉野宿ふじやを再開

＊1 再開後の新型コロナウイルス感染防止対策（ホームページ掲載内容）

○来館者へのお願い

- ・入館にはマスクの着用をお願いします。マスクのない方の入館はご遠慮ください。
- ・37.5℃以上の発熱がある方、咳・咽頭痛などの症状がある方の入館はご遠慮ください。
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方の入館はご遠慮ください。
- ・入館時に手指の消毒をお願いします。
- ・入館時に検温を実施しています。
- ・館内の一方通行にご協力ください。
- ・他の来館者との間隔を開けてください。
- ・展示室内では大声での会話をお控えください。
- ・展示ケース、壁にはお手を触れないようお願いいたします。
- ・混雑時は入館の制限をする場合があります。

○当館の取組み

- ・入館時の検温の実施
- ・館内の消毒、清掃、扇風機や送風機での換気の実施
- ・手指用消毒液の設置
- ・職員のマスクやフェイスシールドの着用
- ・受付での飛沫感染防止用シートの設置

＊2 再開にあたって、施設職員が使用するもの・来館者の対応に必要なものを購入し、その費用について補助金の交付申請を行った。

○購入品

- ・マスク（100枚）
- ・フェイスシールド（100枚）
- ・消毒液（102ℓ）
- ・ビニール手袋（51箱）
- ・除菌シート（8袋）
- ・受付用アクリル仕切り（4枚）
- ・仕切り用ビニールシート（5m）

3 常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の2つ。

「自然・歴史展示室」については、「川と台地と人々の暮らし」を全体テーマとし、「台地の生い立ち」、「郷土の歴史」、「暮らしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の5つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、JAXAとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

4 企画展（特別展示） ※は実施予定日

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	考古企画展 津久井城跡市民協働調査10周年記念「真・津久井城展～戦国の世に黄金を生む城～」	※3月14日（日）～ 5月6日（水・祝）		戦国時代に築かれた津久井城について、絵図、古文書、発掘調査などの最新の調査成果をまとめ、新たな津久井城像の紹介を予定。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未公開で終了
	担当学芸員が語る津久井城座学「真・津久井城～資料を見直してみたら…～」	※3月29日（日）		○講師 当館学芸員
	記念講演会「飲み会禁止！「城掟」が語る津久井城と戦国社会」	※4月12日（日）		○講師 竹井 英文（東北学院大学准教授）
	北条氏城郭最新発掘調査成果発表会	※4月19日（日）		○講師 各調査担当者
	津久井城自然科学分析成果発表会	※4月26日（日）		○講師 各分析担当者
	戦国ワークショップ「小柄ペーパークラフト」	※5月6日（水・祝）		
	展示解説（全3回）	※3月22日（日） ※4月19日（日） ※5月6日（水・祝）		
	【動画配信】 展示解説	10月9日（金）～	延べ560回 （視聴回数） （3月31日まで）	※企画展が未公開で終了となってしまったため、展示解説動画を「ネットで楽しむ博物館」で配信。
2	歴史企画展 東京オリンピック・パラリンピック関連企画展「相模原にオリンピックがくる」	※5月23日（土）～ 7月5日（日）		相模原での1964年の東京オリンピック関係資料紹介と東京2020大会のPRを行う企画展を予定。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期
	関連講演会	※6月6日（土）		○講師 本田 大三郎（1964年東京オリンピック カヌー日本選手団主将） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	展示解説&ギャラリートーク「展示解説と1964東京オリンピック聖火リレーの思い出」	※6月20日（土）		○ゲスト 1964年聖火リレー走者 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	ロードレース関連イベント	※6月27日（土）		○協力 Team UKYO SAGAMIHARA ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

令和2年度 相模原市立博物館 年報

	展示解説&ギャラリートーク「展示解説とカヌー競技・相模湖選手村の思い出」	※7月4日(土)		○ゲスト 渋谷 隆宏(1964年東京オリンピック カヌー競技役員) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3	天文企画展 JAXA連携企画展「相模原と月」	※7月18日(土)～ 8月30日(日)		「相模原市と月」をテーマに写真や映像、月にまつわる行事、市内で行われている月探査の最新情報等を併せて紹介する展示を予定。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期
	昼間の月の観望会	※8月23日(日)		○講師 当館学芸員
4	生物企画展 開館25周年記念企画展 「神奈川の植物、相模原の植物 植物誌から考える生物多様性」	9月19日(土)～ 11月15日(日)	6,360人 ※1日平均 130人	平成30年に刊行され、当館も参画した『神奈川県植物誌2018』の刊行を記念し、相模原市域における調査活動や植物誌のトピックを紹介。 ※5と同時開催
	【動画配信】 オンライン記念講演会「科学の目で植物誌を読み解く」 ①「新しい植物の分類とDNAからわかる植物の進化」 ②「生物多様性と地域植物誌」	10月上旬～ 11月15日(日)	延べ962回 (視聴回数)	①講師：倉田 薫子(横浜国立大学准教授) 回数：791回 ②講師：新田 梢(麻布大学特任助教) 回数：171回 ※9月12日(土)、10月18日(日)開催予定だった記念講演会の代替事業
	展示解説(全2回)	※9月19日(土) ※10月24日(土)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
5	歴史企画展 開館25周年記念・山崎弁栄上人没後100周年記念 「無量光寺文書・山崎弁栄遺墨展」	9月19日(土)～ 11月15日(日)	6,360人 ※1日平均 130人	本市当麻の古刹である当麻山無量光寺の文化財や、その住職を務め、また、光明学園を創設した山崎弁栄の作品を紹介。 ※4と同時開催
	【動画配信】 展示解説動画配信 ①「山崎弁栄の遺墨について」 ②「山崎弁栄上人について」 ③「無量光寺文書について」	10月上旬～ 11月15日(日)	延べ760回 (視聴回数)	「展示解説の概略について」 講師：当館学芸員 回数：140回 ①講師：金田 昭教(浄土寺) 回数：275回 ②講師：加藤 智(カトリック上福岡協会) 回数：97回 ③講師：当館学芸員 回数：248回 ※10月上旬開催予定だった展示解説・ギャラリートークと10月中旬開催予定だった関連講演会の代替事業

6	地質企画展 開館25周年記念企画 「色々な石展」	12月5日(土)～ ※1月31日(日) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1月13日(水)以降中止)	4,291人 ※1日平均 172人	岩石や鉱物を、透明、白、黒、赤、青など色ごとに分けて展示して紹介。 ※7と同時開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月23日(土)～7月5日(日)から延期
	展示解説(全4回)	※12月5日(土)・ ※27日(日)、 ※1月10日(日)・ ※30日(土)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
7	学習資料展 開館25周年記念企画 「学習資料展 道具が変わるわたしの暮らし～過去から未来へ向かう記憶～」	12月5日(土)～ ※1月31日(日) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1月13日(水)以降中止)	4,291人 ※1日平均 172人	道具の変化からくらしが変わっていったことを、実物資料と実体験エピソードから紹介。 ※6と同時開催
8	天文企画展 「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開展示	3月12日(金)～ 3月16日(火)	4,624人	小惑星探査機「はやぶさ2」が開発・運用されてきた故郷・相模原(JAXA宇宙科学研究所)にて、地球に帰還したカプセルを世界で初めて公開。 ○主催 相模原市教育委員会(博物館)、相模原市(観光・シティプロモーション課) ○協力 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館中に、往復はがきでの抽選による当選者のみ公開

5 講座・講演会・教室・観望会などの事業 ※は実施予定日

(1) ミニ展示(全18件)

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	ミニ展示「マッチ」	1月17日(金)～ 8月23日(日)	26,816人	旧津久井郷土資料室蔵のさまざまな図柄のマッチ箱について、飲食店や旅館・商店街等の内容に分けて紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため終了日を4月5日(日)から延長
2	市史ミニ展示(第6回) 「城山町移管資料 齋藤篤太郎日記」	1月25日(土)～ 6月30日(火)	11,341人	城山町史刊行後に寄贈を受けた資料をもとに、戦前に活躍した地域の教育者である齋藤篤太郎を紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため終了日を3月31日(火)から延長

令和2年度 相模原市立博物館 年報

3	ミニ展示「東京2020大会公式アートポスター展」 【オリンピック版】	6月9日（火）～ 8月16日（日）	12,895 人	東京2020オリンピック大会公式アートポスター12枚の作品を展示。
4	ミニ展示「旧石器時代の道具～狩りの道具の作り方とその変化～」	6月9日（火）～ 9月22日（火・祝）	22,159 人	旧石器時代の狩りの道具について、作り方とその変化を紹介。
5	わお！な生きものフォトコンテスト写真展	7月1日（水）～ 8月16日（日）	11,023 人	公益財団法人日本自然保護協会とソニー株式会社が進めるわお！わお！生物多様性プロジェクトの一環として実施しているフォトコンテストの入賞作品を展示。
6	特別公開「相州津久井城図」	8月15日（土）～ 9月22日（火・祝）	10,449 人	中止になった企画展「真・津久井城展」で展示予定であった江戸時代の津久井城図を特別公開し、あわせて津久井城想定イラストも展示。
	展示解説（全2回）	※9月12日（土）・ ※21日（月・祝）		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
7	ミニ展示「東京2020大会公式アートポスター展」 【パラリンピック版】	8月22日（土）～ 10月18日（日）	13,466 人	東京2020パラリンピック大会公式アートポスター8枚の作品を展示。
8	実習生展	①8月29日（土）～ 7月6日（火） ②9月19日（土）～ 11月15日（日） ③9月5日（土）～ 3月31日（水） ④9月6日（日）～ 開催中 ⑤9月12日（土）～ 3月31日（水）	延べ 34,232 人 （3月31日 まで）	考古・歴史・民俗・生物・地質・天文分野の博物館実習生がまとめた実習成果を紹介。 ①考古 ②歴史・生物 ③民俗 ④地質 ⑤天文
9	市史ミニ展示（第7回）「斎藤篤太郎日記 その2」	9月19日（土）～ 11月23日（月・祝）	14,643 人	城山町史刊行後に寄贈を受けた資料をもとに、戦前に活躍した地域の教育者である斎藤篤太郎を紹介。
10	「はやぶさ2」カプセル回収応援パネル展示	10月17日（土）～ 12月27日（日）	14,947 人	小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル帰還及び回収までの流れやカプセルの構造などについて、パネルや映像展示で紹介。
11	ミニ展示「歴代オリンピックポスター展－1896～1976－」	10月31日（土）～ 12月20日（日）	11,243 人	博物館のオリンピック関係収蔵品である1896アテネから1976モントリオール大会までの歴代夏季オリンピックポスターを展示。
12	開館25周年記念事業 開館25周年記念ポスター展	11月15日（日）～ 1月11日（月・祝）	10,213 人	開館25周年記念として各年度1枚程度主な企画展ポスターを展示。
13	十二支ミニ展示「丑（うし）」	12月15日（火）～ 1月17日（日）	4,052 人	令和3年の十二支である丑にまつわる市内の生物資料（カモシカはく製）や、民俗資料（写真）等について紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため1月13日（水）以降中止

令和2年度 相模原市立博物館 年報

14	令和2年「宇宙の日」記念 作文絵画コンテスト 作品 展	12月22日(火)～ 3月31日(水)	8,988人	9月12日の「宇宙の日」にち なんで開催した全国小・中学生 作文絵画コンテストについて、 当館で受賞した作品15点を展 示。
15	市史ミニ展示(第8回)「相 原村の電気事情」	1月9日(土)～ 5月30日(日)	7,337人 (3月31日 まで)	旧相原村の電気事情について、 同村の役場資料から当時の東京 電灯と旧相原村の交渉を紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止による休館のため終了日 を3月28日(日)から延期
16	ミニ展示「雑誌や記録集で みる1964東京オリン ピック」	3月23日(火)～ 5月9日(日)	2,066人 (3月31日 まで)	博物館のオリンピック関係収蔵 品である雑誌や記録集を展示。 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため開始日を1月15日 (金)から延期
17	開館25周年記念事業 博物館×相模女子大学～コ ラボ衣装展「わ!」～	3月23日(火)～ 5月13日(木)	2,066人 (3月31日 まで)	開館25周年を記念して、相模 女子大学の学生が歴史や自然を テーマに制作した衣装を展示。 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため実施日を2月26 日(金)～3月31日(水)か ら延期
18	市下水道部×博物館共催 「ミニ下水道ワールド～ま んぼー編～」	3月23日(火)～ 5月16日(日)	2,066人 (3月31日 まで)	市下水道部との共催でマンホー ルに関する展示や各種のマン ホールカードを紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため開始日を3月17 日(水)から延期

*ミニ展示の「来場者」は、期間中の入館者数

(2) 通年事業(全2件)

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	生きものミニサロン(全1 2回)	4月25日(土)～ 3月27日(土) (月1回土曜日に開催) ※実施5回	延べ98人	博物館周辺で身近な生きものの 観察を実施。なお、8月29日 (土)は学芸員実習生による 「生きものミニサロントライア ル」として実施。 ○講師 当館学芸員ほか ※12回のうち、新型コロナウ イルス感染症拡大防止のため4 月25日(土)、5月23日 (土)、6月27日(土)、7月 18日(土)、1月23日 (土)、2月27日(土)、3月 27日(土)は中止

2	星空観望会（全26回）	※4月4日（土）～ 3月26日（金） （原則月2回（8月は 4回）金曜日又は土曜 日に開催・定員各回 120人）		季節に応じた天体の観望を通 し、天文知識の普及を予定。 ○講師 当館学芸員、プラネタリウム 解説員、星空観望会補助者、 市民学芸員 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため中止
---	-------------	---	--	--

（3）その他の事業（全42件）

ア 実施した事業（全8件）

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	【インターネット配信】 はやぶさ2トークライブ シーズン2 in 相模原～ 「はやぶさ2」地球帰還に 向けて～	9月20日（日）	166人 （当日最大視 聴者数）	地球帰還に向けた運用やカプセル 回収などについて、プロジェ クトマネージャ津田雄一氏、サ ブマネージャ中澤暁氏、ミッ ションマネージャ吉川真氏の講 演をインターネット配信で開 催。 ○講師 津田 雄一（「はやぶさ2」プ ロジェクトマネージャ） 中澤 暁（「はやぶさ2」サブ マネージャ） 吉川 真（「はやぶさ2」ミッ ションマネージャ）
2	開館25周年記念事業 みんなで飾ろう！誕生日 ケーキ	①11月14日（土） ～11月19日（木） ②11月20日（金） ～11月11日（月・ 祝）	延べ 10,494 人 ○内訳 ①1,161人 ②9,333人	開館25周年を記念して、紙で 作った大きなケーキを設置し、 作成期間に来館者に飾り付けて もらったものを設置期間に展 示。 ①作成期間 ②設置期間
3	開館25周年記念事業 ありがとう！25周年記念 メッセージボード	11月14日（土）～ 11月11日（月・祝）	延べ501枚 （メッセージ の数）	開館25周年を記念して、博物 館へのメッセージボードを設 置。
4	開館25周年記念事業 25周年記念絵はがきがも らえる！スペシャルクイズ ラリー	11月15日（日）～ 11月23日（月・ 祝）	延べ978人	開館25周年を記念して、博物 館や展示資料にまつわるクイズ ラリーを実施。参加者には、2 5周年記念絵はがきを贈呈。
5	【インターネット配信】 「はやぶさ2」カプセル回 収直前WEB講演会	11月22日（日）	221人 （当日最大同 時視聴者数）	カプセル回収のために、オース トラリア滞在中のサブマネー ジャ中澤暁氏の現地報告（中 継）とミッションマネージャ吉 川真氏の講演会を、博物館にて インターネット配信で開催。 ○講師 中澤 暁（「はやぶさ2」サブ マネージャ） 吉川 真（「はやぶさ2」ミッ ションマネージャ）

令和2年度 相模原市立博物館 年報

6	「はやぶさ2」カプセル帰還パブリックビューイング（第1部）	12月5日（土）	79人 ○内訳 一般観覧者： 63人 報道関係者： 16人	小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセル分離や地球圏離脱軌道変更の運用の様子をライブ配信するYouTube「JAXAチャンネル」についてパブリックビューイングを実施。 ○講師 川勝 康弘（JAXA宇宙科学研究所教授）
7	【動画配信】 ネットで楽しむ考古学講座 「展示室から探る相模原市の遺跡」	①1月16日（土）～ ②2月13日（土）～	延べ535回 （視聴回数） （3月31日まで） ○内訳 第1回： 延べ200回 第2回： 延べ147回 第3回： 延べ69回 第4回： 延べ119回	常設展示の内容を中心に市内の遺跡を紹介する動画を「ネットで楽しむ博物館」で配信。 ①第1・2回 旧石器時代、縄文時代 ②第3・4回 古代、中世 ○講師 当館学芸員
8	開館25周年記念事業 プラネタリウム寄席 ほしぞら亭（無料上映）（全2回・3月31日まで）	3月27日（土）～ 5月5日（水・祝） （期間中の土・日・祝）	延べ18人 （3月31日まで）	落語「猫の皿」・「古事記」、できたんの発泡スチロール工作芸を、大会議室で映像収録し、プラネタリウムの「おためしタイム」枠で無料上映。 ○出演者 桂 竹千代（落語） できたくん（発泡スチロール工作芸） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業（イー28）の代替事業

イ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・延期した事業（全34件）

	事業名	実施予定日	来場者	内容・備考
1	国際博物館の日記念「もっと知りたい博物館」	5月16日（土）		企画調整の段階で中止。
2	学芸員講話（さがみはら宇宙の日） 学芸員講話 in プラネタリウム	5月17日（日）		プラネタリウムにて「博物館から覗いた宇宙」や「2020年の主な天文現象」を紹介する講話を予定。 ○講師 当館学芸員 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月23日（日・祝）から延期後中止

令和2年度 相模原市立博物館 年報

3	石を顕微鏡で見てみよう	5月31日(日)		岩石のプレパラートを偏光顕微鏡で観察することを予定。 ○講師 当館学芸員
4	地質学講座「身近な石の中の鉱物～造岩鉱物の基礎」(全4回)	6月6日(土)・ 20日(土) 7月4日(土)・ 18日(土)		身近に見られる岩石に含まれている鉱物についての基礎を学ぶことを予定。 ○講師 当館学芸員
5	はやぶさ2トークライブ シーズン2 in 相模原～はやぶさ地球帰還10周年記念～	6月13日(土)		「はやぶさ」地球帰還から10年を記念し、「はやぶさ」や後継機の「はやぶさ2」についての講演会を予定。 ○講師 吉川 真(「はやぶさ2」ミッションマネージャ)
6	博物館de星まつり!七夕でワッショイ!	7月1日(水)～ 7月7日(火)		短冊や七夕飾りを作って飾ることができる笹飾りや七夕らしい記念撮影コーナーの設置を予定。
7	はやぶさ2トークライブ シーズン2 in 相模原 ～リュウグウ周りでのナビゲーションと探査結果～	7月5日(日)		「はやぶさ2」ミッションマネージャ吉川真さんによる『リュウグウ探査結果』やプロジェクト航法誘導制御担当の三桝裕也さんの『リュウグウ周りでの「はやぶさ2」ナビゲーション』をテーマに講演を予定。 ○講師 吉川 真(「はやぶさ2」ミッションマネージャ) 三桝 裕也(「はやぶさ2」航法誘導制御担当) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月22日(日)から延期後中止
8	夏休み親子天文教室 ～手作り天体望遠鏡～	7月26日(日)		望遠鏡の仕組みを学びながら口径4cmの屈折望遠鏡を親子で作製、製作した天体望遠鏡を使い、天体観測を予定。 ○講師 当館学芸員
9	小中学生のための生物学教室「動物のからだのつくりを学ぼう」	7月29日(水)		学校で学ぶ生物学よりも少し専門的な内容について、実習と講義を交えて学ぶワークショップを予定。 ○講師 当館学芸員

令和2年度 相模原市立博物館 年報

10	子ども鉱物教室 「鉱物のふしぎ」(全2回)	8月11日(火)・ 18日(火)		ミョウバンの結晶づくりや鉱物のかたさ比べを通して、鉱物の基礎を学ぶことを予定。 ○講師 当館学芸員
11	うちわ作り体験	8月12日(水)		うちわ作りを通して、子どもたちにうちわの歴史・文化について学んでもらい、身近な道具に対する理解を深めることを予定。 ○講師 当館学芸員
12	探検!発見!クイズ&チャレンジ2020(全2回)	8月22日(土)・ 23日(日)		主に幼児を対象にした体験型のスタンプラリーと小学生以上を対象にしたクイズを予定。 ○講師 市民学芸員
13	当麻周辺探訪	9月5日(土)		無量光寺など南区当麻周辺の史跡や文化財の探訪を予定。 ○講師等 担当学芸員 博物館学芸員実習生
14	中央地区「子どもと大人共に学ぶ宇宙教室」(全3回)	①9月13日(日) ②1月16日(土) ③3月6日(土)		博物館のある中央地区の市民に向けて宇宙についての教育普及事業を予定。 ①開校式 ②JAXA講演など ③閉校式など ○共催 中央地区宇宙教室実行委員会
15	発掘調査成果発表会	10月3日(土)		市内で実施された発掘調査成果の発表を予定。 ○講師 各調査担当者ほか
16	植物学講座「花の観察と植物画」(全2回)	10月3日(土)・ 10日(土)		植物の科学的な観察方法として最も基本的な「描く」という行為を通して、植物のからだのしくみと自然の造形の美しさを学び、植物画の初歩的な技の習得を予定。 ○講師 豊田 路子(植物画家)
17	講演会「飲み会禁止!「城掟」が語る津久井城と戦国社会」	10月11日(日)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった考古企画展関連事業(4-1)の代替として予定。 ○講師 竹井 英文(東北学院大学准教授)

令和2年度 相模原市立博物館 年報

18	火山灰を顕微鏡で見よう	10月18日(日)		日本各地の地層中の火山灰を顕微鏡で観察することを予定。 ○講師 当館学芸員
19	ワークショップ(考古)(全2回)	11月14日(土)・ 15日(日)		企画調整の段階で中止。
20	学びの収穫祭(全2回)	11月14日(土)・ 15日(日)		企画調整の段階で中止。
21	タブレット純ライブ (ユニークベニュー事業)	11月15日(日)		相模原市名誉観光親善大使でもあるお笑い芸人で歌手のタブレット純のトークとライブをプラネタリウム内で実施することを予定。 ○出演者 タブレット純(歌手・お笑いタレント) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月30日(日)から延期後中止
22	人文講話(全6回)	①11月15日(日) ②11月29日(日) ③12月13日(日) ④1月10日(日) ⑤1月24日(日) ⑥2月7日(日)		企画調整の段階で中止。
23	民俗学講座(全4回)	①12月6日(日) ②12月19日(土) ③1月10日(日) 【人文講話④の再掲】 ④1月24日(日) 【人文講話⑤の再掲】		相模原に伝わる伝承について、講演会を予定していた。うち2回は外部講師を迎えることを予定。 ○講師 外部講師 担当学芸員
24	クリスマスほしぞらコンサート (ユニークベニュー事業)	12月12日(土)		プラネタリウムを会場に美しい星空のもとクリスマスメドレーを主にした生演奏のクリスマスコンサートを予定。
25	民俗学講演会【民俗学講座②の再掲】	12月19日(土)		妖怪研究で活躍されている講師を迎え、妖怪の伝説についての講演を予定。 ○講師 常光 徹(映画「学校の怪談」原作者) ※令和元年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業の代替事業
26	考古学講座(全4回)	12月20日(日)、 1月17日(日)、 2月21日(日)、 3月21日(日)		企画調整の段階で中止。

令和2年度 相模原市立博物館 年報

27	歴史&地質講座（全4回）	①12月5日（土） ②12月19日（土） ③1月16日（土） ④2月13日（土）		小仏城山や津久井城山周辺の地質と歴史について座学と現地観察会を通して学ぶことを予定。 ①座学（城郭網&小仏層群） ②探訪（小仏方面） ③探訪（又野・津久井城方面） ④まとめ（城郭網&小仏層群） ○講師 当館学芸員
28	開館25周年記念事業 開館25周年記念プラネタリウム・コラボレーションイベント第1回 プラネタリウム寄席 ほしぞら亭（ユニークベニュー事業）	1月17日（日）		開館25周年を記念して第18回さがみはら若手落語家選手権優勝（2019年）の桂竹千代、できたくんによる寄席をプラネタリウム内で実施することを予定。 ○出演者 桂 竹千代（落語） できたくん（発泡スチロール工作芸） ※代替事業として令和3年3月～5月にプラネタリウムで収録番組を無料投影（ア－8）。
29	市史講演会	1月～3月		相模原市史に関連する近現代史の講演会を予定。
30	繭うさぎをつくろう	2月7日（日）		市民学芸員が指導し、繭を使った繭うさぎ作りの実施を予定。 ○講師 市民学芸員
31	博物館ガイドツアー	2月27日（土）		企画調整の段階で中止。
32	砂を顕微鏡で見よう	2月28日（日）		日本や世界各地の砂を顕微鏡で観察することを予定。 ○講師 当館学芸員
33	富士山火山防災フォーラム	2月（未定） ※時期について主催者から連絡無し		富士山の噴火現象と火山防災について、講演会やパネル展示、体験活動を通して学ぶことを予定。 ○講師 萬年 一剛（神奈川県立温泉地学研究所） 当館学芸員 ○主催 神奈川県 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため令和2年2月22日（土）から延期後中止

34	開館25周年記念事業 開館25周年記念プラネタリウム・コラボレーションイベント第2回「相模の里神楽」講演と神楽披露 (ユニークベニュー事業)	3月6日(土)		開館25周年を記念してプラネタリウムを会場に、神楽に関する小川直之氏の講演会と相模里神楽垣澤社中による公演を予定。 ○講師 小川 直之(國學院大學 教授) ○出演者 相模里神楽 垣澤社中
----	---	---------	--	---

6 プラネタリウム・全天周映画

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日(水)～6月18日(木)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)は投影休止。投影回数及び開始時間を変更(詳細は12頁Ⅲ-2参照)。

(1) 投影等開始時間

- ア 6月19日(金)～7月31日(金)
 平日(火～金(特別上映期間を除く))
 午後1時30分・午後3時00分
 土・日・祝日及び特別上映期間
 午前11時00分・午後1時30分・午後3時00分
- イ 8月1日(土)～令和3年3月31日(水)
 平日(火～金(特別上映期間を除く))
 午後1時30分・午後3時30分
 土・日・祝日及び特別上映期間
 午前11時00分・午後1時30分・午後3時30分

(2) 一般投影 テーマ解説

- ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番 組
- ①MOON～太陽系のいろいろな「月」～
6月19日(金)～9月27日(日)
 - ②このチャンスを見逃すな!! 火星「準」大接近
9月29日(火)～11月1日(日)
 - ③おかえり「はやぶさ2」～リュウグウのお宝を相模原へ～
11月3日(火・祝)～令和3年1月11日(月・祝)
 - ④星座～星空のヒストリー～
令和3年3月23日(火)～4月4日(日)

こどもプラネタリウム

- ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番 組
- ①リーベルタース天文台だより 秋の星座の物語
9月5日(土)～11月29日(日)
 - ②こまねこのクリスマスー迷子になったプレゼントー
12月5日(土)～12月25日(金)
 - ③イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?!
(同時上映「季節の星空解説」)
12月26日(土)～令和3年1月11日(月・祝)
 - ④リーベルタース天文台だより 春の星座の物語

令和3年3月23日（火）～4月4日（日）

星空模様

ア 内 容 解説員による季節の星空解説（所要約40分）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、投影休止

全天周映画

ア 内 容 大型映像の全天周映画作品を上映

イ 番 組 ①HAYABUSA2～REBORN

6月19日（金）～令和3年4月4日（日）

②イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行？！

（同時上映「まくまくんの星空大冒険」）

7月18日（土）～8月30日（日）

（3）おためしタイム（無料）

ア 内 容 「プラネタリウム寄席 ほしぞら亭」を無料で約15分間投影（詳細は20頁5（3）ア～8参照）。

イ 実施日 土曜・日曜・祝日（3月27日（土）～5月5日（水・祝））正午から

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日曜・祝日開催の「おためしタイム」（委託業者による提案事業）は年間を通じて中止

（4）学習投影

ア 内 容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

イ 番 組 小中学校向け「今晚の星空」

「空を見上げて（夏・冬）」

「宇宙への旅」

幼児向け 「今晚の星空」

「リーベルタース天文台だより」（春・夏・秋・冬）

「ピーターパンのぼうけん」

「ピーターパンとほしのくにへいこう！」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回

エ 観覧者 延べ 1,565人

（5）広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校や報道機関等に発送した。また、淵野辺駅に掲示する他、博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載した。

7 情報サービスコーナー

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閉鎖。

8 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展（特別展示）のポスター・パンフレット等
※ポスター一覧は53頁参照
- イ 相模原市立博物館イベントニュース
（6月号・6（Ver. 2）月号・7～8月号・9～10月号・11月号・12～1月号
・2月号・3月号）
- ウ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- エ 研究報告第29集
- オ 『津久井城跡－城坂曲輪群1～5号曲輪の市民協働調査－』

(2) 有償刊行物一覧（令和3年3月31日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 359,780 円

①博物館 図録・報告書等売上

合計 151冊 74,110 円

ア 特別展・企画展図録等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7. 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8. 2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	H 8. 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8. 11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	H 9. 7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	H 9. 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10. 9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	H 11. 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11. 10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	H 12. 7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	H 12. 10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	H 13. 7	3
“道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	H 13. 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14. 7	2
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	H 15. 7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16. 7	0
相模原－その開発と変貌－	¥800	H 16. 10	1
地球46億年	¥900	H 17. 7	2
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18. 10	完売
合 計	¥5,700		8

イ 報告書等

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第7集 1999	¥850	H 10. 3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11. 3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12. 3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13. 3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14. 3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15. 3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16. 3	0
研究報告第14集 2005	¥900	H 17. 3	1
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18. 3	1
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19. 3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20. 3	1
研究報告第18集 2009	¥700	H 21. 3	1
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22. 3	－

令和2年度 相模原市立博物館 年報

研究報告第20集 2012	配布のみ	H 24.3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H 25.3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H 26.3	-
研究報告第23集 2015	配布のみ	H 27.3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H 28.3	-
研究報告第25集 2017	配布のみ	H 29.3	-
研究報告第26集 2018	配布のみ	H 30.3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10.3	完売
地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12.3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13.3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14.3	0
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	H 15.3	5
資料目録5 相模原植物誌Ⅰ	¥600	H 15.3	1
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17.3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17.3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17.3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20.3	1
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21.5	13
大日野原遺跡資料調査報告書	¥720	H 31.3	3
津久井城跡資料調査報告書	¥1,820	R 2.3	24
合 計		¥59,380	52

ウ 展示解説書

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8.11	完売

エ 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード

絵 葉 書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
ポストカード（相模原市立博物館）	¥30	R 2.11	15
ポストカード（相模原市緑区青野原上空からみた道志川）	¥30	R 2.11	3
ポストカード（相模津久井城図 但古城）	¥30	R 2.11	3
ポストカード（毛羽取機）	¥30	R 2.11	3
ポストカード（エナガの巣立ちビナ）	¥30	R 2.11	12
ポストカード（勝坂式土器）	¥30	R 2.11	6
ポストカード（相模原市立博物館プラネタリウム）	¥30	R 2.11	14
ポストカード（7枚セット）	¥210	R 2.11	35
合 計		¥9,030	91

合 計	¥74,110	151
-----	---------	-----

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 141冊 285,670 円

ア 相模原市史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第1巻（中世以前通史）	¥2,300	S 39.11	2
相模原市史 第2巻（近世通史）	¥3,400	S 42.3	1
相模原市史 第3巻（近代通史）	¥2,800	S 44.2	0
相模原市史 第4巻（現代通史）	¥3,200	S 46.3	0
相模原市史 第5巻（中世・近世資料集）	¥4,500	S 40.11	0
相模原市史 第6巻（近代資料集）	¥3,200	S 43.2	0
相模原市史 第7巻（別編）	¥1,900	S 47.3	0
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16.11	8
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20.3	0
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21.5	3
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22.3	8

令和2年度 相模原市立博物館 年報

相模原市史	民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	3
相模原市史	現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	5
相模原市史	考古編	¥2,650	H 24 . 3	5
相模原市史	現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	8
相模原市史	文化遺産編	¥3,060	H 27 . 3	6
相模原市史	近代資料編	¥3,240	H 29 . 5	0
相模原市史	別編	¥1,690	H 30 . 2	0
相模原市史	別編CD版	¥920	H 30 . 2	4
相模原市史ノート	創刊号	¥350	H 16 . 3	1
相模原市史ノート	第2号	¥700	H 17 . 3	2
相模原市史ノート	第3号	¥600	H 18 . 3	2
相模原市史ノート	第4号	¥600	H 19 . 3	0
相模原市史ノート	第5号	¥600	H 20 . 3	1
相模原市史ノート	第6号	¥700	H 21 . 3	1
相模原市史ノート	第7号	¥700	H 22 . 3	1
相模原市史ノート	第8号	¥650	H 23 . 3	1
相模原市史ノート	第9号	¥700	H 24 . 3	0
相模原市史ノート	第10号	¥700	H 25 . 3	1
相模原市史ノート	第11号	¥700	H 26 . 3	3
相模原市史ノート	第12号	¥700	H 27 . 3	0
相模原市史ノート	第13号	¥700	H 28 . 3	2
相模原市史ノート	第14号	¥720	H 29 . 3	4
相模原市史ノート	第15号	¥760	H 30 . 3	5
相模原市史調査報告書1	旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	0
相模原市史調査報告書2	動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書3	相模原周辺の関東ローマ層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書4	相模原市地域の第4紀地史研究のための指標テフラ（火山灰）	¥2,300	H 21 . 3	0
相模原市史調査報告書5	縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書6	勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	3
相模原市史調査報告書7	当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	1
合 計			¥142,250	82

イ 城山町史

書 名		販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	2
城山町史2	資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	0
城山町史3	資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	0
城山町史4	資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	0
城山町史5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	2
城山町史6	通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	0
城山町史7	通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	0
城山風土記1	近現代編	¥600	H 3 . 3	1
城山風土記2	近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	3
城山風土記3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	1
城山風土記4	歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	1
城山風土記5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	2
城山町史資料所在目録	近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録	近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓（復刻版）		¥1,100	H 18 . 3	0
合 計			¥26,100	12

ウ 津久井町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世1	¥2,000	H 16 . 3	2
津久井町史 資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	3
津久井町史 資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	0
津久井町史 資料編 近世2	¥3,550	H 23 . 3	2
津久井町史 自然編	¥3,690	H 25 . 3	1
津久井町史 通史編 近世・近代・現代	¥2,720	H 26 . 3	1
津久井町史 通史編 原始・古代・中世	¥2,620	H 28 . 3	4
津久井町史 文化遺産編	¥4,060	H 30 . 3	5
ふるさと津久井 第1号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井 第2号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井 第3号 (特別号) 津久井の古地図	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井 第4号 特集 養蚕と織物(1)	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井 第5号 特集 養蚕と織物(2)	¥750	H 24 . 3	4
ふるさと津久井 第6号	¥820	H 26 . 3	2
ふるさと津久井 第7号	¥790	H 29 . 3	6
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」	¥1,700	H 16 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」	¥1,500	H 20 . 3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	0
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	0
津久井町史資料目録 公文書1	¥2,300	H 22 . 3	0
津久井町史資料目録 公文書2	¥1,700	H 24 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告1	¥1,850	H 22 . 3	0
津久井町史資料叢書 事務報告2	¥1,850	H 22 . 3	0
合 計		¥66,370	30

エ 相模湖町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13 . 3	1
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19 . 2	0
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20 . 2	1
合 計		¥25,550	2

オ 藤野町史

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6 . 3	3
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6 . 3	1
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7 . 3	2
ふじの町史 研究誌(第1号)	¥600	H 2 . 3	0
ふじの町史 研究誌(第2号)		H 4 . 2	完売
ふじの町史 研究誌(第3号)	¥600	H 5 . 3	3
ふじの町史 研究誌(第4号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史 研究誌(第5号)	¥600	H 8 . 3	6
合 計		¥25,400	15

(3) 広報活動

ア ポスター・チラシ掲示

前述の各ポスター・チラシを市各機関・近隣博物館・相模大野パブリックインフォメーション所管課等へ送付し、掲示・配架を依頼するとともに、淵野辺駅に掲示した。

イ 記事提供

広報さがみはらや相模原記者クラブなどの新聞・雑誌・タウン紙等のメディアへイベ

ント情報を提供した。また、タウン紙「タウンニュース」中央区版のシリーズ「博物館の資料から相模原を学ぶ」に毎月、学芸員が資料紹介の寄稿を行った。

ウ 放送番組

NHK、J：COM、FM HOT 839など、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、FM HOT 839レギュラー枠「博物館探検隊」、「ラジオミュージアム」に出演した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどによる発信

各種事業のPRや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどにより広く発信した。

9 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月4日（火）～9月21日（月・祝）の内、実質9日間に15大学から延べ20人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	大 学	人 数	分野	大 学	人 数
考古	大正大	2	生物	桜美林大	1
	中央大	1		多摩美術大	1
	桜美林大	1		東京農業大	1
歴史	専修大	1		日本大	1
	青山学院大	1	地質	東京造形大	1
	東海大	1		東大	1
民俗	立正大	1		桜美林大	1
	東京工芸大	1	天文	東京農業大	2
	神奈川大	1		東京都立大	1

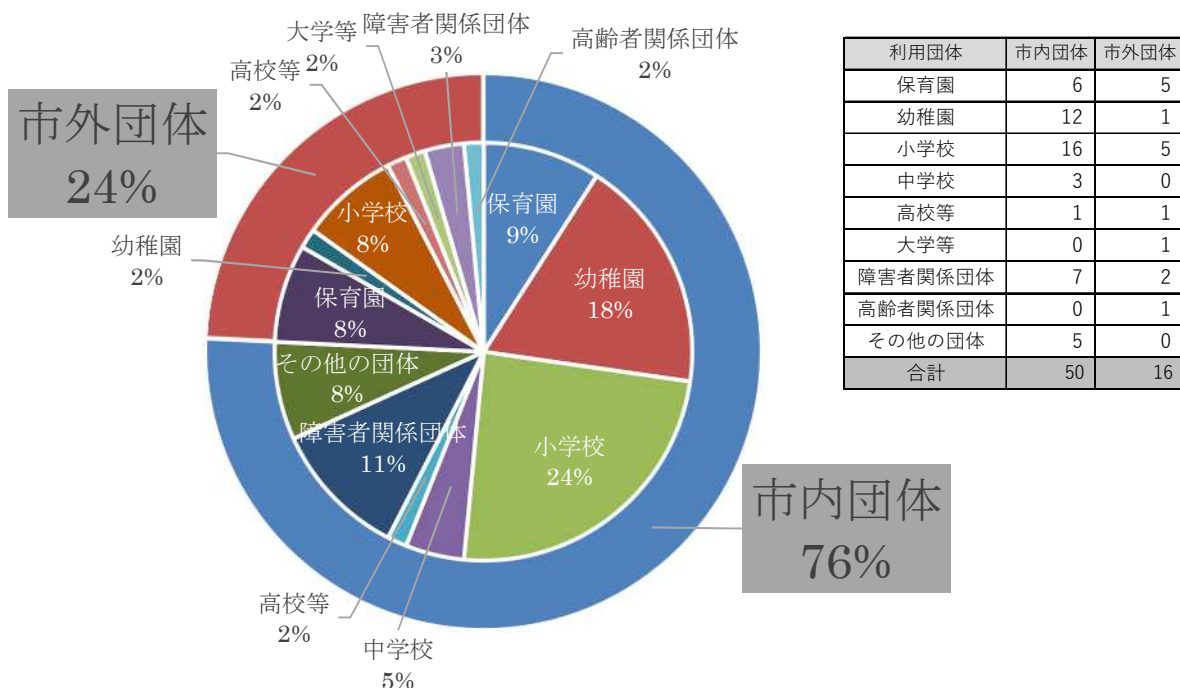
10 団体利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数
4月	0	0	8月	1(※)	10	12月	17	662
5月	0	0	9月	8	432	1月	0	0
6月	0	0	10月	23	835	2月	0	0
7月	0	0	11月	17	717	3月	0	0
						年計	66	2,656

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していた団体予約は、9月から受入を再開したが、例外的に8月に展示見学のための団体を1件受入れた。

(1) 団体利用内訳



1.1 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

(主な貸出しキット)

- ・糸車
- ・炭火アイロン
- ・電気アイロン
- ・縄文体験キット
- ・昭和ってすごい時代体感キット
- ・家電製品の移り変わりキット
- ・火のし
- ・火鉢セット

学年	件数
小学校1年	4
小学校2年	0
小学校3年	7
小学校4年	0
小学校5年	0
小学校6年	3
中学校1年	0
中学校2年	0
中学校3年	0
その他	2
合計	16

1.2 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで平成29年度に完成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文(日本語、英語)、紹介地マップもついている。

また、貸出し分(10組、期間は原則1ヶ月以内)も制作し、博物館内の掲示やホームページ、職員ブログでPRを行ったほか、博物館の学習資料展で紹介した。

令和2年度は、感染症対策として、原則かるたの貸し出しは中止とした。ただし例外として、利用が教育目的であり、使用前の手指の消毒などを条件として、学校などの団体に貸し出しを行った。

(1) 制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

(2) 貸出し件数

学校、公民館、保育園など6件16組

13 ネットで楽しむ博物館

動画配信サイト「YouTube」の「相模原市立博物館公式チャンネル」を用いて、博物館ホームページの「ネットで楽しむ博物館」で動画配信を行った。

	タイトル	視聴回数※	
1	みどころいっぱい博物館の展示室 各展示コーナーの紹介	3 7 3回	
2	博物館チャレンジクイズ① みんな知ってる？相模原の川の台地	1 8 1回	
3	博物館チャレンジクイズ② 発見！火山灰の台地	1 8 4回	
4	博物館チャレンジクイズ③ 勝坂式土器の秘密	1 6 8回	
5	博物館チャレンジクイズ④ 望遠鏡で見る大迫力の月！	1 8 5回	
6	真・津久井城展展示解説 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未公開で終了となった企画展の展示解説動画（詳細は1 4 頁 4－1 参照）	5 6 0回	
7	博物館チャレンジクイズ⑤ カラスの種類	1 1 9回	
8	博物館チャレンジクイズ⑥ 太陽の姿を知ろう！	1 5 3回	
9	博物館チャレンジクイズ⑦ 物置が語る人々の生活	7 2回	
1 0	ネットで楽しむ考古学講座 （詳細は2 0 頁 5 （3）ア－7 参照）	第1 回 旧石器時代編	2 0 0回
1 1		第2 回 縄文時代編	1 4 7回
1 2		第3 回 古代編	6 9回
1 3		第4 回 中世編	1 1 9回

※3月31日までの延べ視聴回数。

14 インターンシップ

例年相模原市役所職員研修所の依頼により受け入れていたインターンシップは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

15 博物館職員の講師依頼等

市内公民館、小・中学校、高校、他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。

依頼件数 計36件（うち9件はオンライン） *依頼件数には中止になったものも含む
聴講者 延べ 1,446人

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	さがさんぽにおける自然観察会	NPO法人 Link・マネジメント	生物	4/5(日)	西門商店街通り	秋山幸也
2	新採用職員研修「相模原の歴史」	市職員研修所	民俗	4/6(月) 4/7(火) 9/2(水)	けやき会館	山本菜摘
3	北条・武田の駆け引きと境目の城“津久井城”	城山地域史研究会	歴史	4/19(日)	城山公民館	木村弘樹
4	令和2年度相模原市自然環境観察員制度 第1回環境学習セミナー	環境情報センター	生物	4/25(土)	環境情報センター	秋山幸也
5	常設展の解説及び指定された文化財の座学	市文化財調査・普及員考古班	考古	6/11(木)	博物館	長澤有史

令和2年度 相模原市立博物館 年報

6	環境学習動画出演	環境情報センター	生物	5月～6月	博物館・市内上溝	秋山幸也
7	カイコの出張授業	大島小学校3年生	生物	6/23(火)	大島小学校	秋山幸也
8	カイコの出張授業	清新小学校4年生	生物	6/24(水)	清新小学校	秋山幸也
9	森林の歴史勉強会	神奈川県県央地域県政総合センター津久井分室（水源の森林部）	歴史	7/22(水)	津久井合同庁舎3階会議室	井上泰
10	オンライン自然観察会の報告会講師	公益財団法人日本自然保護協会	生物	7/28(火)	博物館（オンライン）	秋山幸也
11	相模原を知ろう	みらいカフェ	民俗	8/15(土)	鶴ヶ丘団地集会所	加藤隆志
12	前期集中講義「地学実験」	東京電機大学	地質	8/25(火)	東京都立大学（オンライン）	河尻清和
13	カイコの出張授業	光が丘小学校3年生	生物	8/26(水)	光が丘小学校	秋山幸也
14	さがさんぽにおける自然観察会	さがみはら認知症サポーターネットワーク	生物	9/27(日)	古淵	秋山幸也
15	田名公民館歴史講座「三増峠の戦いとその後」	田名公民館	歴史	10/4(日)	田名公民館	木村弘樹
16	新採用職員研修「相模原の歴史」	市職員研修所	民俗	10/5(月)	けやき会館	山本菜摘
17	「地域で学ぶ社会のしくみ」オンライン授業	相模女子大学	歴史	10/9(金)	相模女子大学（オンライン）	木村弘樹
18	勝坂遺跡公園の魅力を調べよう	新磯小学校3年生	生物	10/13(火)	勝坂遺跡	秋山幸也
19	体験活動（岩石採集）	相模川自然の村野外体験教室	地質	10/15(木) 10/16(金)	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和
20	総合的な学習・生きもののくらす環境について	富士見小学校3年生	生物	10/20(火)	富士見小学校	秋山幸也
21	体験活動（岩石採集）	相模川自然の村野外体験教室	地質	10/21(水)	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和
22	相模原フェスタ オンラインツアーリズム出演（案内解説）	潤水都市さがみはらフェスタ実行委員会	歴史	10/25(日)	十二天神社・龍像寺（オンライン）	木村弘樹
23	博物館と共和の魅力を発見する授業	共和小学校3年生	歴史	11/6(金)	共和小学校	木村弘樹
24	体験活動（岩石採集）	相模川自然の村野外体験教室	地質	11/18(水)	相模川自然の村野外体験教室	河尻清和

25	蚕の展示学習（講評）	大野村いつきの保育園	生物	11/25(水)	博物館	秋山幸也 河尻清和 福田茂
26	相模原市の歴史、橋本地区の変遷	橋本小学校	歴史	12/8(火)	橋本小学校	木村弘樹
27	カイコ蛹と繭の取り扱いについて	大島小学校	生物	1/19(火)	博物館 (オンライン)	秋山幸也
28	さがみはら地域づくり大学基礎コース「相模原を知ろう、学ぼう」のうち、「相模原市の歴史について」	公益財団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	歴史	1/20(水)	ユニコムプラザさがみはらミーティングルーム	木村弘樹
29	「市のうつりかわり」3、4年生	くぬぎ台小学校	民俗	1/26(火)	くぬぎ台小学校	山本菜摘
30	カブトムシのすむ環境について	旭小学校	生物	1/27(水)	博物館 (オンライン)	秋山幸也
31	森の生きもの講演会「鳥たちの行動から探そう、生きもののつながり」	横浜自然観察の森	生物	1/30(土)	博物館 (オンライン)	秋山幸也
32	展示物作成のレクチャー（生物・カイコ）	光が丘小学校	生物	2/2(火)	博物館 (オンライン)	秋山幸也
33	総合的な学習の時間（博物館資料の収集・保存）	内出中学校	共通	2/4(木)	内出中学校 (オンライン)	木村弘樹
34	上鶴間公民館ガイド養成講座	上鶴間公民館	共通	2/25(木)	上鶴間公民館	秋山幸也
35	新磯魅力発見講座	新磯公民館長	民俗	2/27(土)	新磯公民館 大会議室	加藤隆志
36	東村山文化財講演会	東村山ふるさと歴史館	民俗	3/6(土)	東村山ふるさと歴史館 視聴覚室	加藤隆志

16 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーを行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

分野	展示内容
考古	淵野辺嶽之内下遺跡・淵野辺嶽之内上遺跡・山王平遺跡の旧石器～縄文時代資料
生物	博物館及び宇宙科学研究所周辺にある「雑木林」をテーマとした昆虫標本・鳥類はく製

17 市民との協働

	名称	登録者	参加者	内容
1	市民学芸員	43人	延べ304人	学習資料展の企画・準備等を実施した。また、有志により市民学芸員かわら版作成などを行った。
2	相模原植物調査会	60人	延べ50人	市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。その他、令和2年7月豪雨で被災した人吉城歴史館の植物標本のレスキュー作業を行った。
3	相模原地質研究会	14人	延べ42人	博物館周辺の地形調査を行った。企画展の準備作業を行った。
4	相模原縄文研究会	12人	延べ27人	寄贈された考古資料の整理を行った。
5	民俗調査会	27人	延べ69人 (毎月実施しているフィールドワーク他の参加人数)	近世の村など、テーマを定めて市内外のフィールドワークを行い、地域のさまざまな文化遺産や民俗を見学した。
6	水曜会	19人	延べ55人 (※新型コロナウイルスの影響により活動は6回のみ)	旧津久井郷土資料室に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を行った。
7	相模原市立博物館天文クラブ	19人	0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動休止	博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を予定していた。
8	福の会	7人	延べ72人 (毎月2回程度実施している作業に参加した人数)	寄贈された講中道具等の整理を行ったほか、収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。
9	相模原動物標本クラブ	21人	延べ30人	博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。

10	尾崎行雄を全国に発信する会			平成28年度で協働事業が終了した尾崎罌堂記念館の普及事業については、平成29年度から尾崎行雄を全国に発信する会に企画・運営を委託し、「尾崎罌堂記念館展示・普及事業」を行っている。令和2年度は、企画していた講演会等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。代替として、「尾崎行雄（罌堂）ゆかりの地マップ」の改訂版を作成した。
11	NPO法人ふじの里山くらぶ			平成27年度に協働事業が終了した吉野宿ふじやの普及事業については、「吉野宿ふじや活性化事業」をプロポーザル方式で選定した「NPO法人ふじの里山くらぶ」に令和2年度も企画・運営を委託した。令和2年度は企画展が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。代替として、「甲州道中吉野宿マップ」及び「吉野宿ふじやリーフレット」の改訂版を作成した。

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (R3. 3. 31現在)	単位
考 古	考古資料	考古資料収蔵庫	6, 457	箱
		自然・歴史展示室	898	点
		他館等長期貸出資料	623	点
	分野 計		7, 978	箱/点
歴 史	歴史資料	古文書収蔵庫	5, 054	点
		生活資料収蔵庫	1, 209	点
		特別収蔵庫	66, 898	点
		自然・歴史展示室	126	点
	軍事資料	生活資料収蔵庫	1, 638	点
		自然・歴史展示室	34	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3, 322	点
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21, 742	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5, 911	点
分野 計		106, 046	点	
民 俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫	23, 103	点
		自然・歴史展示室	141	点
		他館等長期貸出資料	36	点
	分野 計		23, 280	点
地 質	化石資料	地質資料収蔵庫等	250	点
		自然・歴史展示室	50	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	4, 142	点
		自然・歴史展示室	34	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7, 075	点
		自然・歴史展示室	12	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	192	点
	砂礫等資料	地質資料収蔵庫等	732	点
		自然・歴史展示室	5	点
	剥ぎ取り資料	地質資料収蔵庫等	49	点
		自然・歴史展示室	4	点
分野 計		12, 545	点	

令和2年度 相模原市立博物館 年報

動 物	魚 類	液浸標本収蔵庫	40	点
		自然・歴史展示室	16	点
	昆 虫 類	動植物資料収蔵庫	39,151	点
		自然・歴史展示室	18	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,891	点
		自然・歴史展示室	14	点
	鳥 類	動植物資料収蔵庫等	201	点
		自然・歴史展示室	40	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	点
		自然・歴史展示室	4	点
分 野 計		42,405	点	
植 物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	56,553	点
		自然・歴史展示室	21	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点
	分 野 計		56,580	点
天 文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,028	点
		天文展示室等	25	点
	分 野 計		2,053	点
合 計			250,887	箱/点

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (R3. 3. 31現在)	単位
美 術 品	絵画	美術品収蔵庫	418	点
	書	美術品収蔵庫	56	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	点
合 計			2,588	点

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (R3. 3. 31現在)	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	施設名	収蔵点数 (R3.3.31現在)	単位
考 古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	箱
		城山郷土資料保管庫	309	箱
		吉野宿ふじや	75	点
	分野 計		795	箱/点
歴 史	歴史資料	尾崎罌堂記念館	4,078	点
		小原本陣・小原の郷	254	点
		吉野宿ふじや	669	点
	分野 計		5,001	点/箱
民 俗	民俗資料	小原本陣・小原の郷	401	点
		城山郷土資料保管庫	850	点
		吉野宿ふじや	1,470	点
	分野 計		2,721	点
動 物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点
	分野 計		115	点
合 計			8,632	箱/点

博物館関係施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数 (R3. 3. 31現在)	単位
藤野第 2 資料保管庫	考古	考古資料	411	箱
	施設 計		411	箱
尾崎罌堂記念館	歴史	歴史資料	4, 078	点
	施設 計		4, 078	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点
	施設 計		655	点
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	309	箱
	民俗・地理	民俗生活資料	850	点
	施設 計		1, 159	箱/点
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	点
	歴史	歴史資料	669	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1, 470	点
	動物	昆虫類	115	点
	施設 計		2, 329	点
合 計			8, 632	箱/点

博物館資料に関する図書等

博物館	図書	市民研究室等	41,698	点
	ビデオ・CD-ROM、DVDソフト	情報サービスコーナー	405	点
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,814	点
	分野計		45,917	点

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び再整理、寄贈考古資料の整理作業
歴史	寄贈・寄託（予定含む）歴史資料の分類整理、尾崎行雄（罌堂）関係資料の分類整理、旧津久井郷土資料室所蔵紙資料の整理
民俗	民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天体・天文現象・太陽の撮影やデータの整理 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

3 有害生物管理の実施

（１）受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を、洗浄・乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により実施した。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が0ppmになるよう活性炭吸着排気を行った。

（２）有害生物調査

7月～10月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

4 資料の特別利用

利用総件数 89件（令和2年度中に利用申請されたもの）＜申請日順＞

申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
神奈川県立歴史博物館	撮影・閲覧	調査研究	4/7	民俗	懷中日記ほか
個人	写真データ利用	調査研究	4/14	市史	津久井町史「文化遺産編」掲載石仏写真
株式会社同成社	写真データ利用	出版掲載	5/31	考古	勝坂遺跡D区のマメ圧痕土器
㈱ドッグシュガー	館外貸出し	番組制作	5/15～6/20	市史	広報課撮影アルバム（白黒写真4点）
個人	写真データ利用	調査研究	6/9～6/30	民俗	講中道具関係資料
㈱ビーブレーション	写真データ利用	番組制作	6/10	歴史	一層式洗濯機
市南土木事務所	撮影・閲覧	調査研究	6/10	歴史	県・米軍撮影航空写真
個人	閲覧	調査研究	6/11	歴史	磯部角田家文書
個人	撮影	出版掲載	6/16～7/31	民俗	婚礼用具の藁苞
個人	写真データ利用	調査研究	6/16～7/31	民俗	講中道具（角樽）写真
個人	撮影・閲覧	調査研究	6/19	歴史	麻溝村土地宝典・麻溝村役場資料

令和2年度 相模原市立博物館 年報

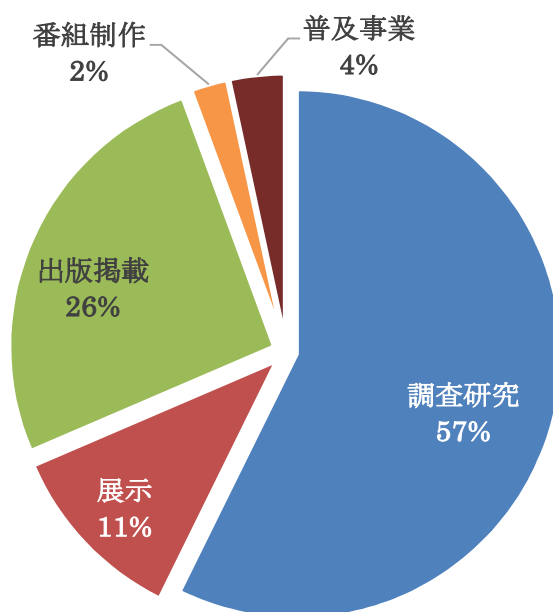
神奈川県教育委員会文化遺産課	撮影・閲覧	展示	7/7	考古	田名塩田遺跡群、田名向原遺跡、嵯峨遺跡、津久井城跡御屋敷、本城曲輪、下原遺跡
個人	撮影・複写	調査研究	7/4	歴史	津久井郷土資料室古文書・江成保家文書
市文化財保護課	写真データ利用	出版掲載	7/13～8/12	考古	大日野原遺跡出土の土偶付き深鉢土器・人体文土器
市立上鶴間公民館	館外貸出し	出版掲載	7/18～8/18	市史	市史石造遺物・景観調査ファイル2冊
個人	閲覧	調査研究	7/25	歴史	ゼンリン住宅地図1976～77年4冊
尾崎行雄を全国に発信する会	閲覧・複写	調査研究	7/26	歴史	尾崎行雄漢詩集
跡部踊り念仏保存会	写真データ利用	出版掲載	7/30～	歴史	一遍上人立像レプリカ写真
市文化財保護課	閲覧・撮影	調査研究	7/28	歴史	長谷川一郎氏資料・津久井地域絵葉書
市広聴広報課	図録・写真の利用	出版掲載	7/28～	市史	士官学校正門写真・星が丘住宅計画図
個人	写真データ利用	出版掲載	8/11～8/31	民俗	養蚕等民俗写真15点
山王長寿会	閲覧	調査研究	8/3	歴史	淵野辺本町石井規久男家資料
市文化財保護課	閲覧・撮影	調査研究	8/6	歴史	旧津久井郷土資料室資料
個人	閲覧・複写	調査研究	8/11	歴史	昭和7.1.19横浜貿易新報ほか
個人	閲覧・撮影	調査研究	8/18	町史	城山町史資料 川尻小治革誌他
個人	閲覧・複写	調査研究	8/26	歴史	上九沢笹野家資料
市立上鶴間公民館	館外貸出し	出版掲載	8/27～10/15	市史	市史写真アルバム1冊、写真2点
個人	閲覧・撮影	出版掲載	9/2	考古	風間遺跡古宮地区の土器5点
個人	閲覧	調査研究	9/17	民俗	脱穀機
株新興出版社啓林館	写真データ利用	出版掲載	9月下旬～3/31	地質	関東ロー層剥ぎ取り標本写真
神奈川県教育委員会文化遺産課	館外貸出し	展示	11/20～3/26	考古	田名向原遺跡・津久井城跡出土品29点
神奈川県教育委員会文化遺産課	館外貸出し	展示	1/13～3/26	考古	田名塩田遺跡群出土品7点
神奈川県教育委員会文化遺産課	写真データ利用	展示	12/24～3/7	考古	田名向原遺跡・津久井城跡写真7点
神奈川県立歴史博物館	館外貸し出し	展示	9/29～2/19	歴史・民俗	懐中日記、道祖神のお札
個人	撮影	調査研究	9/30	歴史	迅速測図
個人	閲覧・撮影	調査研究	10/3	歴史	上溝中村真次家・本町自治会文書
株パレオ・ラボ	図版利用	出版掲載	10/6～	考古	研究報告26集p21第5図、p22第6図
個人	閲覧・撮影・計測	調査研究	10/20	考古	谷原1/2/3/12号墳、東原古墳
個人	撮影	調査研究	10/8	歴史	昭和38,42地形図
個人	閲覧	調査研究	10/9	歴史	淵野辺中里博家・鈴木健司家文書（マイクロ）
個人	閲覧	調査研究	10/9	歴史	相原村文書、土木・交通1、横浜鉄道関係書
個人	閲覧	調査研究	10/11	歴史	上溝小山浩二家寄託資料（マイクロ）
個人	閲覧・複写	調査研究	10/22	歴史	旧麻溝村役場資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	10/23	歴史	迅速測図・地形図・空中写真
個人	閲覧・複写	調査研究	10/16	歴史	無量光寺文書・向得寺文書（両方ともマイクロ）
市文化財保護課	出版掲載	出版掲載	12/28～	歴史	旧津久井郷土資料室 長谷川一郎・鈴木重光資料

令和2年度 相模原市立博物館 年報

座間市教育委員会生涯学習課	出版掲載	出版掲載	11/1～	歴史	茅ヶ崎海の家チラシ・祝相模線開通の歌
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/6	市史	町史撮影青野原村永井家資料（日記資料）
個人	閲覧・複写	調査研究	11/8	歴史	下溝座間家文書（マイクロ撮影文書）
津久井観光協会	出版掲載	出版掲載	12/1～	考古	内藤直行金割字寶朱印の図
個人	閲覧	調査研究	11/10	歴史	天野望家寄贈資料（尾崎罌堂関係）
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/14	歴史	旧相原村役場資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/18	歴史	旧相原村役場・橋本出張所資料
タウンニュース	写真利用	出版掲載	11/19	考古	山王平遺跡出土土器
相模原市民ギャラリー	閲覧・撮影	調査研究	11/20	歴史	津久井郷土資料室（鈴木重光）資料
座間市教育委員会教育研究所	閲覧・撮影	調査研究	11/21	歴史	田名志村家、下溝福田家文書
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/21	歴史	旧相原村役場・橋本出張所資料
個人	閲覧・複写	調査研究	11/23	歴史	橋本・小野路迅速測図
個人	館外貸出し	出版掲載	11/27～ 1/10	市史	現代図録編掲載写真7点
個人	閲覧・撮影	調査研究	11/28	歴史	旧相原村役場・橋本出張所資料
個人	閲覧・撮影	調査研究	12/4	歴史	上九沢笹野善一家資料 南山禪師書簡軸
愛川町郷土資料館	計測・撮影	調査研究	12/8	民俗	小学校用机・椅子
市相模原駅周辺まちづくり課	館外貸出し	出版掲載	12/10	市史	現代図録編掲載写真10点
個人	閲覧・撮影	調査研究	12/11	市史	市史保管総合学習センター資料（谷口青年会）
個人	館外貸出し	調査研究	12/11～ 12/27	市史	市史保管総合学習センター資料（谷口支部1冊）
個人	閲覧・撮影	調査研究	12/12	歴史	旧相原村役場資料7点
個人	閲覧・撮影	調査研究	12/15	歴史	淵野辺村鈴木家文書・中里博家文書
市道路整備課	閲覧・撮影	調査研究	12/18	歴史	航空写真（昭和11.17年）
市相模原駅周辺まちづくり課	館外貸出し	出版掲載	1/8	市史	現代図録編掲載写真3点
市文化財保護課	閲覧・撮影	調査研究	1/8	歴史	航空写真・旧軍施設配置図
株式会社毎日映画社	出版掲載	出版掲載	4/1～	民俗	備中ぐわ
市リニア駅周辺まちづくり課	写真データ利用	普及事業	3/1～	市史	市史現代図録編掲載 橋本写真10点
島根県立古代出雲歴史博物館	閲覧・撮影	調査研究	2/25	考古	勝坂遺跡マメ圧痕土器
個人	撮影	調査研究	2/10	歴史	尾崎罌堂関係写真15点
陽光台自治会	写真データ利用	普及事業	3/28～	考古	横山坂遺跡調査写真
竹倉土偶研究所	写真データ利用	出版掲載	2/25～	考古	田名塩田遺跡群出土クルミ形土器
市観光・シティプロモーション課	写真データ利用	出版掲載	2/19～	考古	下原遺跡出土 勝坂式土器
公益社団法人相模原青年会議所	写真データ利用	出版掲載	2/25	歴史	尾崎罌堂写真
神奈川県立歴史博物館	写真データ利用	展示	3/5～	考古	田名向原遺跡住居状遺構調査風景写真
市文化財保護課	閲覧・写真データ利用	普及事業	3/11	考古	横山坂遺跡調査写真、出土石器一式
国立歴史民俗博物館	館外貸出し	展示	4/1～ 3/31	考古	田名向原遺跡出土石器
株光文書院	写真データ利用	出版掲載	3/10～	歴史	与瀬駅写真・若葉台団地写真
市文化財保護課	館外貸し出し	展示	3/26～ 5/7	考古	横山坂遺跡出土石器30点
個人	閲覧・撮影	調査研究	3/23	歴史	陸軍士官学校配置図他

個人	館外貸し出し	調査研究	3/23～ 3/31	歴史	陸軍士官学校新築工事写真他
個人	閲覧・撮影	調査研究	3/24	歴史	富士講文書、吉川家・牛久保家文書
相模原郷土懇話会	閲覧・転写	調査研究	3/26	歴史	農家台帳 大野中4冊
市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1～ 3/31	考古	田名塩田遺跡群出土遺物
市文化財保護課	館外貸出し	展示	4/1～ 3/31	考古	勝坂遺跡出土遺物

(1) 資料の特別利用内訳



利用目的	件数
調査研究	51
展示	10
出版掲載	23
教材利用	0
説明資料	0
番組制作	2
映像放映	0
普及事業	3
合計	89

5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	火星探査機「のぞみ」1／1 模型	H28. 6. 1		エントランス
2	「はやぶさ」1／1 模型	H29. 9. 11		エントランス
3	大西宇宙飛行士がISSへ持ち込んだ、「はやぶさ2」と小惑星リュウグウの模型	H29. 8. 26		エントランス
4	M-V 5号機1／50 模型	不明		天文展示室
5	イオンエンジンμ10 模型	H30. 6. 8		天文展示室
6	カーボングリッド	H30. 6. 8		天文展示室
7	「あけぼの」1／5 模型	H30. 7. 21		天文展示室
8	「はやぶさ2」帰還カプセル前面ヒートシールド及び展示ケース	R3. 3. 5	R3. 3. 17	特別展示室
9	「はやぶさ2」帰還カプセル背面ヒートシールド及び展示ケース	R3. 3. 5	R3. 3. 17	特別展示室
10	「はやぶさ2」帰還カプセル搭載電子機器部及び展示ケース	R3. 3. 5	R3. 3. 17	特別展示室
11	「はやぶさ2」帰還カプセルインストルメントモジュール及び展示ケース	R3. 3. 5	R3. 3. 17	特別展示室

12	「はやぶさ2」帰還カプセルパラシュート及び展示ケース	R3. 3. 5	R3. 3. 17	特別展示室
13	「はやぶさ2」帰還カプセルI/M輸送箱BOX	R3. 3. 11	R3. 3. 17	エントランス
14	「はやぶさ2」帰還カプセルサンプルコンテナ輸送BOX	R3. 3. 11	R3. 3. 17	エントランス

・その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	ブックスタイル説明台	H9. 4. 1		エントランス
2	はやぶさ2のぼうけん日誌台	不明		天文展示室
3	スタンプラリー台（はやぶさ）	H30. 2. 2		エントランス
4	スタンプラリー台（いんせき）	H30. 2. 2		天文展示室
5	「はやぶさ」パネル類（3点）	H29. 9. 11		エントランス

6 全国科学館連携協議会からの借用物

令和2年度は借用物なし

V 調査研究

分野	担当者	内容と成果
考古	河本 雅人 長澤 有史	川坂遺跡の出土品について調査と整理を行った。市内を中心とする縄文時代中・後期の資料調査を行い、その成果に基づいて令和3年度に考古企画展を開催した。また、市民協働調査で行った津久井城城坂曲輪群の発掘調査報告書を刊行した。
民俗	山本 菜摘 加藤 隆志	映像資料をデジタルデータ化するとともにDVDを作成し、安定した状態で保管・活用が可能な状態にした。 家電が家庭に入ってきた頃の各家庭の受け入れによって、日常生活にどのような変化があったのか市民を対象に調査し、企画展に反映した。 収蔵資料と市内の民俗に関する写真について、再確認や整理を実施するとともに、写真に関する記事を博物館職員ブログに「写真でみる相模原」として連載した。
歴史	木村 弘樹 井上 泰	市内の中世から近現代関係資料について調査し、ミニ展示などを開催するとともに、研究報告第29集の中で、市内にかかわるオリンピック関係資料と、旧相原村の電気事情に関する報告を掲載した。
生物	木村 知之 秋山 幸也	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。
地質	河尻 清和	相模原市内および相模川・桂川流域の地形地質調査を実施し、調査結果の一部を研究報告第29集に掲載した。相模湾の海浜礫、桂川上流域および関東平野西縁部の調査を東京都立大学と合同で実施した。
天文	田子 智大 里見 聡一 福田 茂	新学習指導要領に合わせたプラネタリウム学習番組（小学校4年生向け天文学習）について調査研究し、当館のねらいと学習指導の概要を研究報告第29集に掲載した。

・検討会委員等の派遣

立川市史民俗・地誌編編集委員	加藤 隆志
国土交通省相模川ふれあい懇談会世話人	秋山 幸也
国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー	秋山 幸也
神奈川県丹沢大山自然再生委員会委員	秋山 幸也
神奈川県レッドリスト委員会植物・菌類部会委員	秋山 幸也
海老名市文化財保護審議会委員	井上 泰
厚木市史編集専門委員会委員	井上 泰

VI 市史関連事業

1 収集・整理事業

市史及び津久井町史の編さんに際し収集した資料の整理作業を行うとともに、次の市史等の編さんに向けた資料の収集を行った。

- (1) 資料筆耕
 - ・川尻 八木家文書（第二次長州戦争八王子千人同心従軍日記類、地誌探索記録類、八木家日記）
 - ・沢井 加藤家文書（加藤家日記）
 - ・吉野 吉野家文書（吉野十郎日記）
 - ・佐野川 清水家文書（清水家日記）
 - ・川尻 馬場家（津久井県紀行詩集）
 - ・斎藤篤太郎日記（継続中）
- (2) 校訂作業
 - ・高城治寛日記（継続中）
- (3) 資料整理、保存状況確認作業
 - 旧城山町史（収集資料類確認）・旧城山町教育委員会所蔵資料の目録化、確認作業
- (4) 太井 角田家(家文書) 資料整理 目録作成 417点
 - ・津久井町史編纂過程において、角田家から借用していた資料を整理
- (5) 青山 光明寺(追加資料)資料整理 目録作成178点
 - ・津久井町史編纂過程において、光明寺から借用していた資料を整理
- (6) 御用留資料整理 目録作成（211冊）
 - ・津久井町史編纂過程において、複写した旧家の御用留をデータ・紙焼き共に整理し目録作成
- (7) 「相模原市史現代資料編」複写資料整理作業
 - ・相模原市史編さん過程における複写資料の整理、資料総計2,476点中約1,950点
- (8) 「きょうのニュース」一覧表の作成
 - 今後の相模原市史編さんの資料とするため、240枚1,186件入力
- (9) その他、相模原市史、津久井町史等の在庫管理等の日常業務

2 普及事業

資料の整理・保存及び普及活動を中心に行った。

- (1) 市史ミニ展示
 - ※詳細は講座・講演会の欄（16～18頁5（1）2・9・15）参照
- (2) 市史講演会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - ※詳細は講座・講演会の欄（24頁5（3）イー29）参照
- (3) 市史・町史刊行物の販売
 - 博物館、公文書館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店（10店舗）で販売した。

VII 博物館所管施設

1 尾崎号堂記念館（緑区又野）



外観



展示室

尾崎号堂記念館は、「憲政の神様」といわれた尾崎行雄（号堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年1月に、「尾崎号堂うまれ地記念事業委員会」によって建設され開館した。

昭和33年度に旧津久井町に寄贈され、平成2年に「ふるさと創生事業」にて増改築を行い、平成18年3月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成28年2月、協働事業提案制度事業により常設展示をリニューアルした。

（1）施設概要

ア 住 所	相模原市緑区又野691番地
イ 電 話 番 号	042-784-0660
ウ 延べ床面積	229.62㎡
エ 建 物 構 造	木造1階建て
オ 休 館 日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（12月28日～1月3日）
カ 開 館 時 間	午前9時～午後4時30分

（2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩で作られた高さ3メートル、幅50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、号堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和46年に現在の場所に移設された。

（3）号堂桜・里帰り桜



尾崎行雄が東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのポトマック公園に3,000本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど4品種の桜苗木を『号堂桜』と命名、その内の『普賢象』^{ふげんぞう}1本が平成4年、記念館の庭に植樹された。

また、平成24年には桜寄贈100周年を記念し、新たな里帰り桜『ソメイヨシノ』1本が有志により植栽され、平成29

年には「尾崎行雄を全国に発信する会」との協働事業における100本の「里帰り桜」植樹事業のうち『関山』1本を敷地内に植樹した。

(4) 企画展・講演会・展示

博物館主催事業及び「尾崎行雄を全国に発信する会」への委託事業「尾崎罌堂記念館展示・普及事業委託」として、次の事業を開催した。

ア 博物館主催事業（3事業）

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	歴史講演会 「津久井と旅人 紀行文と江戸時代のすがた」	6月28日（日） （実施予定日）		江戸時代の紀行文を元に津久井の旅の様子や情景についての講演会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ○講師 原 和之（当館会計年度任用短時間勤務職員）
2	市史ミニ展示の巡回展示第1回「城山町移管資料 齋藤篤太郎日記」	8月15日（土）～ 12月9日（水）	325人	城山町史刊行後に寄贈を受けた資料をもとに、戦前に活躍した地域の教育者である齋藤篤太郎を紹介。
3	市史ミニ展示の巡回展示第2回「齋藤篤太郎日記 その2」	12月10日（木）～ 開催中	100人 （3月31日まで）	城山町史刊行後に寄贈を受けた資料をもとに、戦前に活躍した地域の教育者である齋藤篤太郎を紹介。

*ミニ展示の「来場者」は、期間中の入館者数

イ 尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業（3事業）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

	事業名	実施予定日	来場者	内容・備考
1	尾崎罌堂記念館第1回近・現代史講演会「伊藤博文の歩みと神奈川」	10月25日（日）		外部から講師を招き、尾崎行雄とともに活動した伊藤博文について講演を予定。委託を行う前に中止。 ○講師 寺岡 真理子（旧伊藤博文金沢別邸 館長）
2	ミニ企画展 ギャラリートーク	10月下旬～ 12月上旬 11月上旬 12月上旬		企画調整の段階で中止。
3	近現代史講演会②	3月中旬		企画調整の段階で中止。

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



外観



2階展示室

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられた。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンした。また、平成26年4月1日には町屋遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

（1）施設概要

ア 住 所	相模原市緑区吉野214番地
イ 電 話 番 号	042-687-5022
ウ 延べ床面積	392.51㎡
エ 建 物 構 造	木造3階建て
オ 開 館 日	日曜・土曜・休日（年末年始（12月28日～1月3日）を除く）
カ 開 館 時 間	午前10時～午後4時

（2）企画展（4事業）

平成29年度に提案型プロポーザル方式で選定した「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託した「吉野宿ふじや活性化事業」の企画展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

	事業名	実施予定日	来場者	内容・備考
1	「藤野の昔話と伝説」展	6月6日（土）～ 7月12日（日）		藤野の文化財関係の出版物から藤野の昔話や伝説の紹介を予定。
2	「蚕の飼育と人々の生活」展	7月18日（土）～ 8月30日（日）		養蚕など昔の仕事や信仰などの様子を写真と文献で紹介することを予定。
3	「いまきみち・西村繁男・にしむらあつこ」絵本原画展	10月24日（土）～ 12月5日（土）		緑区吉野在住で、絵本原画作家として活躍されている三人の絵本原画を展示し紹介することを予定。
4	「甲州道中－相模湖・藤野・上野原－おひな様」展	2月14日（日）～ 3月14日（日）		藤野、相模湖、上野原で「雛まつり」がどのようにおこなわれてきたか、その歴史を写真や文献で紹介することを予定。

3 入館者数一覧

(1) 尾崎罌堂記念館

	利用人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均 (人)
平成28年度	1, 859	302	6.2
29年度	1, 559	305	5.1
30年度	1, 738	306	5.7
令和 元年度	1, 700	*1 280	6.1
2年度	582	*2 190	3.1

- *1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館
- *2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)休館

(2) 吉野宿ふじや

	利用人数 (人)	開館日数 (日)	1日平均 (人)
平成28年度	3, 154	302	10.4
29年度	1, 554	*1 115	13.5
30年度	2, 012	115	17.5
令和 元年度	1, 711	*2 109	15.7
2年度	*3 562	*4 72	7.8

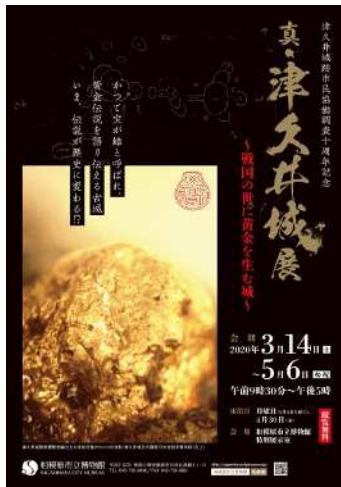
- *1 平成29年4月から土・日曜・祝日のみ開館
- *2 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館
- *3 団体による平日の利用人数を含めると584人／73日
- *4 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月26日(金)休館

VIII 企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧

令和2年度 企画展・プラネタリウム・全天周映画一覧

月	休館状況	企画展		プラネタリウム		全天周映画	
4	休館 6.8まで プラネタリウム 休止 6.18まで	【中止】 真・津久井城展 3.14～5.6					
5							
6		【延期】 東京オリンピック・パラリンピック関連企画展「相模原にオリンピックがくる」 5.23～7.5					
7							
8		【延期】 JAXA連携企画展「相模原と月」 7.18～8.30					
9			MOON ～太陽系のいろいろな「月」～ 6.19～9.27	リーベルタース天文 台だより ～秋の星座の物語～ 9.5～11.29	HAYABUSA2 ～REBORN 6.19～1.11	イナズマデリバリーパイザウェイの宇宙旅行?! 同時上映 まくまくんの星空大冒険 7.18～8.30	
10	無量光寺文書・ 山崎弁栄遺墨展 9.19～11.15	企画展 「神奈川の植物、相模原の植物」 9.19～11.15					このチャンスを見逃すな!! 火星“準”大接近 9.29～11.1
11							
12			おかえり「はやぶさ2」～リュウグウのお宝を相模原へ～ 11.3～1.11	こまねこのクリスマスー迷子になったプレゼントー 12.5～12.25 イナズマデリバリーパイザウェイの宇宙旅行?! (前半：星空生解説) 12.26～1.11			
1	【1.13以降中止】 色々な石展 12.5～1.31	【1.13以降中止】 学習資料展 道具 が変えるわたしのくらし 12.5～1.31					
2	休館 1.13～3.21						
3		小惑星探査機「はやぶさ2」 帰還カプセル世界初公開展示 3.12～3.16					
			星座～星空のヒストリー～ 3.23～4.4	リーベルタース天文 台だより ～春の星座の物語～ 3.23～4.4	HAYABUSA2 ～REBORN 3.23～4.4		

Ⅹ 企画展（特別展示）ポスター一覧



【中止】
津久井城跡協働調査10周年記念
真・津久井城展
—戦国の世に黄金を生む城—



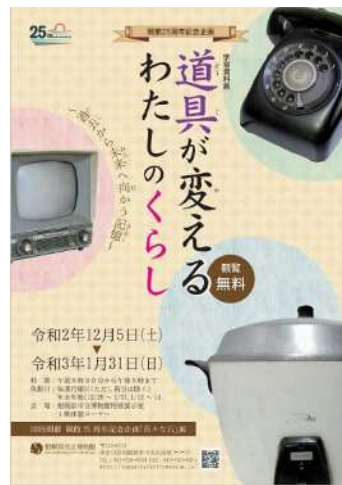
開館25周年記念企画展
神奈川の植物、相模原の植物
植物誌から考える生物多様性



開館25周年記念・
山崎弁栄上人没後100周年記念
無量光寺文書・山崎弁栄遺墨展



【1/13以降中止】
開館25周年記念企画
色々な石展



【1/13以降中止】
開館25周年記念企画
学習資料展
道具が変わるわたしの暮らし
～過去から未来へ向かう記憶～



小惑星探査機「はやぶさ2」
帰還カプセル世界初公開展示
© JAXA

X 博物館略年表

年	月	事 項
昭和55年	4月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和56年	4月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和56年	6月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和56年	10月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和58年	2月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和58年	6月	展示専門委員会の設置
昭和59年	3月	博物館展示基本計画の策定
平成2年	11月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成3年	4月	博物館建設事務所設置
平成3年	5月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成3年	7月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成3年	8月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成3年	9月	建築基本設計着手
平成4年	1月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成4年	2月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成4年	5月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成5年	6月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成6年	8月	天体観測機器設置工事契約
平成7年	3月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第32号)
平成7年	7月	博物館建設工事竣工
平成7年	10月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成7年11月20日 開館		
平成8年	1月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始
平成8年	5月	5/19 入館者数10万人を超える 入館者10万人達成記念式典
平成8年	10月	平成8年度第41回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞

平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始
平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第２駐車場（５０台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	１９９７年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成９年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成９年度第３８回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	11/21 入館者数５０万人を超える
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	1/18 入館者数１００万人を超える
	入館者１００万人達成セレモニー
平成 17 年 1 月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館１０周年記念特別展「博物館１０年の歩み」を実施
平成 17 年 11 月	相模原市立博物館開館１０周年
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（補助執行）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開 以後、毎年 J A X A 連携企画展を開催
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 5 月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始（現在は「生きもののミニサロン」として実施）
平成 23 年 7 月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始
平成 23 年 8 月	8/28 入館者数２００万人を超える
	入館者２００万人達成セレモニー
平成 23 年 11 月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始
平成 24 年 1 月	Twitterを開設 「相模原市立博物館の職員ブログ」を開設
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が５万人を超える
平成 25 年 4 月	研究者らを招き月１回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始（令和元年度まで）

平成２５年	７月	吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星「イトカワ」の微粒子を世界初公開（光学顕微鏡による直接観覧）
平成２５年	８月	市民協働事業で博物館と尾崎弔堂記念館にWi-Fi環境導入（尾崎弔堂記念館のWi-Fiは令和３年３月まで）
平成２６年	１２月	小惑星探査機「はやぶさ２」打上げパブリックビューイングを開催
平成２７年	３月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル 津久井郷土資料室を休止
平成２７年	６月	6/20 入館者数２５０万人を超える
平成２７年	１１月	相模原市立博物館開館２０周年
平成２８年	２月	尾崎弔堂記念館常設展示リニューアル
平成２８年	４月	プラネタリウムの操作等業務をPPP（Public Private Partnership）で選考した業者と契約
平成２９年	４月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成２９年	１１月	当館学芸員によるリレートーク「学芸員講話」を開始
平成３１年	２月	小惑星探査機「はやぶさ２」タッチダウン実況パブリックビューイングを開催
平成３１年	３月	3/19 入館者数３００万人を超える 来館者数３００万人達成記念事業実施
平成３１年	４月	市史編さん班廃止 小惑星探査機「はやぶさ２」衝突装置運用管制室ライブ配信パブリックビューイングを開催
令和 元年	７月	小惑星探査機「はやぶさ２」タッチダウン運用管制室ライブ配信パブリックビューイングを開催
令和 ２年	９月	「ネットで楽しむ博物館（YouTube・相模原市立博物館公式チャンネル）」を開設
令和 ２年	１１月	相模原市立博物館開館２５周年 相模原市立博物館開館２５周年記念ポストカード作成・販売開始
令和 ２年	１２月	小惑星探査機「はやぶさ２」カプセル帰還パブリックビューイング（第１部）を開催
令和 ３年	２月	博物館入口に「さがみん×はやツー君デザインマンホール蓋」を設置
令和 ３年	３月	小惑星探査機「はやぶさ２」の帰還カプセルを世界初公開

○相模原市立博物館条例

平成7年3月23日

条例第13号

改正 平成11年12月22日条例第58号

平成21年12月22日条例第36号

平成24年3月27日条例第21号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館（以下「博物館」という。）を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責めにやらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(2) 博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(3) 博物館の施設、設備、資料等（以下「施設等」という。）を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料（博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。）の撮影、模写、模造その他の特別な利用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

（追加〔平成11年条例58号〕）

（博物館資料の館外貸出し）

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により博物館に相当する施設として指定されたもの
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
- (3) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
- (4) 国立の図書館及び図書館法（昭和25年法律第118号）第2条第1項に規定する図書館
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

（追加〔平成11年条例58号〕）

（特別利用等の条件）

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付することができる。

（追加〔平成11年条例58号〕）

（特別利用等の制限）

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

- (1) 保全上支障があると認めるもの
- (2) 寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの
- (3) 著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの

（追加〔平成11年条例58号〕）

（入館の制限等）

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

（追加〔平成11年条例58号〕）

（販売行為等の禁止）

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

（追加〔平成11年条例58号〕）

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第20条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則 (平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表 (第3条関係)

区分		単位	観覧料	
			大人	小人
プラネタリウム投影	個人	1回につき	500円	200円
	団体 (20人以上)	1人1回につき	400円	160円
全天周映画	個人	1回につき	500円	200円
	団体 (20人以上)	1人1回につき	400円	160円

備考

- 1 小人とは、小学校に就学するまでの4歳以上の者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。
- 2 4歳未満の者は、無料とする。

○相模原市立博物館条例施行規則

平成7年9月29日

教委規則第8号

改正 平成9年1月16日教育委員会規則第2号
平成11年3月31日教育委員会規則第10号
平成12年3月31日教育委員会規則第18号
平成14年10月1日教育委員会規則第19号
平成15年3月14日教育委員会規則第2号
平成17年3月31日教育委員会規則第3号
平成17年7月29日教育委員会規則第20号
平成19年3月30日教育委員会規則第29号
平成21年4月1日教育委員会規則第7号
平成24年3月30日教育委員会規則第9号
平成26年9月30日教育委員会規則第20号
平成27年3月30日教育委員会規則第15号
平成28年3月28日教育委員会規則第10号
平成30年9月28日教育委員会規則第12号
令和元年6月28日教育委員会規則第2号
令和2年12月28日教育委員会規則第33号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例（平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館（以下「博物館」という。）の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- (2) 休日の翌日（休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。）
- (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券(第1号様式)を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券(第2号様式)を交付するものとする。

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。 100パーセント
- (2) 市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。 50パーセント
- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント
- (4) 相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第13条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント
- (5) 65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号・令和2年33号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。

3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。

4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者（以下「利用者」という。）は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないとする博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(遵守事項)

第11条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可なく動物（身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬（同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。）を除く。）又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。
- (2) 博物館資料（第9条第2項の承認を受けたものを除く。）又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。
- (3) 指定された場所以外の場所で飲食しないこと。
- (4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号・令和元年2号〕)

(損傷等の届出)

第12条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(協議会の庶務)

第13条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(協議会会長への委任)

第14条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(様式)

第15条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号〕)

(委任)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月1日教委規則第7号）
この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年3月30日教委規則第9号）
この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年9月30日教委規則第20号）
この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則（平成27年3月30日教委規則第15号）
この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月28日教委規則第10号）
この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成30年9月28日教委規則第12号）
この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則（令和元年6月28日教委規則第2号）
この規則は、令和元年7月1日から施行する。

附 則（令和2年12月28日教委規則第33号）
この規則は、令和3年1月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例

平成17年12月21日

条例第165号

改正 平成21年12月22日条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 ^{がく}堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学の場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館（以下「記念館」という。）を相模原市緑区又野691番地に設置する。

（一部改正〔平成21年条例36号〕）

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

- (1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 記念館の施設、器具等（以下「施設等」という。）を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

- (1) 利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。
- (2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。
- (3) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4) 災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、利用者（利用目的に応じて入館した者を含む。）が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例（昭和55年津久井町条例第18号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成21年12月22日条例第36号抄）

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例施行規則

平成18年2月24日

教育委員会規則第10号

改正 平成27年1月13日教育委員会規則第1号

令和2年3月31日教育委員会規則第19号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例（平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎^{がく}堂記念館（以下「記念館」という。）の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- (2) 休日の翌日（休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。）
- (3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者（承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。）は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあつては、口頭で行うものとする。

2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

(利用の承認等)

第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎^{がく}堂記念館利用承認通知書（以下「利用承認通知書」という。）により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。

2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

（利用の取消し及び承認事項変更の手続）

第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎罌堂記念館利用承認取消（変更）申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎罌堂記念館利用承認取消（変更）決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

（特別な設備等の承認手続）

第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎罌堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎罌堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

（販売行為等の許可手続）

第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎罌堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立尾崎罌堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

（遵守事項）

第9条 利用者（利用目的に応じて入館した者を含む。）は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3) 許可なく火気を使用しないこと。
- (4) 許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。

- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物（身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬（同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。）を除く。）を持ち込まないこと。
- (6) 許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。
- (7) 喫煙をしないこと。
- (8) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (9) その他係員の指示に従うこと。

（一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕）

（職務上の立入り）

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

（損傷等の届出）

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

（利用後の点検）

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

（様式）

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

（追加〔平成27年教委規則1号〕）

（委任）

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

（一部改正〔平成27年教委規則1号〕）

附 則

- 1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則（昭和55年津久井町教育委員会規則第3号）の規定により定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則（平成27年1月13日教委規則第1号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月31日教委規則第19号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成28年4月1日

教育委員会告示第12号

改正 平成29年4月1日教育委員会告示第5号

令和2年3月31日教育委員会告示第14号

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

(1) 12月28日から翌年の1月3日までの日

(2) 前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者があるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。
- (2) 許可なく火気を使用しないこと。
- (3) 許可なく飲食しないこと。
- (4) 喫煙をしないこと。
- (5) 許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物（身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬（同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。）を除く。）を持ち込まないこと。
- (7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号・令和2年14号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則（平成29年4月1日教委告示第5号）

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月31日教委告示第14号）

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

発行日 令和3年4月1日

相模原市立博物館

住 所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15

TEL 042-750-8030

FAX 042-750-8061

e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp

URL <http://sagamiharacitymuseum.jp/>